

令和5年度

教職課程

自己点検・評価報告書

北海道情報大学

経営情報学部

令和6年3月

北海道情報大学 教職課程認定学部・学科（免許校種・免許教科）一覧

通学部

- ・経営情報学部（先端経営学科（高 商業，高 情報），
システム情報学科（中・高 数学，高 情報））

通信教育部

- ・経営情報学部（経営ネットワーク学科（高 商業，高 情報），
システム情報学科（中・高 数学，高 情報））

全体評価

本学の教職課程は、本学や本学部のディプロマ・ポリシーに則り、我が国の ICT 教育において必要とされる情報処理の専門的な知識と高度な技能を身に付けるとともに、幅広い教養・モラル・コミュニケーション能力を身に付けた教員の養成に取り組んでいる。今年度の教職課程の取組として特筆すべき点は、教職課程の目標の見直しを行い、本学や本学部のディプロマ・ポリシーと連動した具体的なコンピテンシーを示したことである。本学部の教職課程では、「数学」「商業」「情報」の教員免許状（教科）の取得が可能で、近年、教員免許状取得を希望する学生は増加傾向にある。このような状況をふまえて、本学の教職課程は、教職カリキュラム改善に取り組み、学生の教職へのキャリアの意向や教育現場で求められる教育実践力を考慮しながら、学生ボランティアや資格取得支援の推進、教員採用試験対策、Jゼミによる教科指導力育成などの実践に努めている。また、本学部の教職課程は、通信教育部にも設置されており、多様な学生の修学ニーズに応じた教員免許取得の機会を提供している。

本年度の教職課程自己点検評価は、昨年度の教職課程自己点検評価の課題解決に基づき、教職カリキュラムの改善を進めてきた。次年度も引き続き、本学の特色を活かし、学生の実態把握と教職カリキュラムの点検を行い、本学部における教職課程の課題を一つずつ解決して、本学部の教職課程の目標達成を目指した取組を推進していく所存である。

北海道情報大学経営情報学部
学部長 高井 那美

目次

I	教職課程の現況及び特色	1
II	基準領域ごとの教職課程自己点検・評価	3
	基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な 取り組み.....	3
	基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援.....	12
	基準領域3 適切な教職課程カリキュラム.....	18
III	総合評価（全体を通じた自己評価）	28
IV	「教職課程自己点検・評価報告書」作成プロセス	29
V	現況基礎データ一覧	30

I 教職課程の現況及び特色

1 現況

- (1) 大学名：北海道情報大学経営情報学部
- (2) 所在地：北海道江別市西野幌 59 番 2
- (3) 学生数及び教員数

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

学生数

【通学部】 教職課程履修 90 名／学部全体 586 名

【通信教育部】 正科生 A・B 教職課程履修 223 名／学部全体 3301 名

科目等履修生 教職課程履修 1372 名／学部全体 1392 名

教員数

【通学部】 教職課程科目担当 17 名／学部全体 32 名

【通信教育部】 教職課程科目担当 22 名／学部全体 32 名

2 特色

北海道情報大学は、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念とし、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、及びそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度 IT 技術者を育成することを目標に掲げている。本学では教職課程を、通学部、通信教育部に設置し、高等学校教諭一種〈情報、数学、商業〉及び中学校教諭一種〈数学〉の教員免許状取得が可能なカリキュラムを編成している。本学の教職課程は 2001 年度に高等学校教諭一種免許状〈情報〉、2009 年度に高等学校教諭一種免許状〈数学（通信教育部は 2011 年）〉及び〈商業〉、2012 年度に中学校教諭一種免許状〈数学（通信教育部は 2015 年）〉を開設し現在に至っている。通信教育部は、正科生・聴講生・特修生・科目等履修生の 4 つの入学形態があり、正科生は本学の卒業を目的に在宅中心で学習する学生（正科生 A）と、本学の教育センターとして認定されている専門学校（全国に 12 校）とのダブルスクールにより本学の卒業を目的に学習す

る学生（正科生 B）がある。教職課程を履修する学生は、文部科学省が推進する GIGA スクール構想など教育における ICT 活用に対応することができる情報技術に関する高い専門性を身に付けている。本学の教職課程は、経営情報学部通学部のアドミッション・ポリシー¹、カリキュラム・ポリシー²、ディプロマ・ポリシー³、通信教育部のアドミッション・ポリシー⁴、カリキュラム・ポリシー⁵、ディプロマ・ポリシー⁶を踏まえ、これら情報技術に関する高い専門性ととも次代の学校教育を担う教員に必要とされる資質能力の育成をしている。技術に関する高い専門性ととも次代の学校教育を担う教員に必要とされる資質能力の育成をしている。

¹ 経営情報学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力や思考力等が身に付いていて、デジタルビジネスを始めとする経営や情報システムの分野に関心がある学生を求めており、本学入学後の学びや諸活動を通して、自ら問題を見出し追求していく姿勢や、自身を向上させようとする意欲があり、情報システムの開発や運用あるいは ICT（情報通信技術）を利活用した経営のための基本的な能力を身に付けられる学生を求めています。

² 経営情報学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

企業等の組織が抱える課題を把握・分析する上で必要な情報を的確に収集・処理し、いかに解決に結びつけるかを追究する、比較的新しい学際的な分野である経営情報学の真髄を修得するために、教養教育科目と、専門科目としての経営学系科目及び情報学系科目によってカリキュラムを編成し、専門科目の多くを先端経営とシステム情報の両学科共通に履修可能な科目として配置します。また、両学科ともに少人数のゼミナール・プロジェクト形式の科目を少なからず配置し、コミュニケーション力を伸ばすこと、並びに個性と能力に応じてスキルアップと研究活動に取り組むことを支援する教育を行います。

³ 経営情報学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学部では、社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用に必要とされる情報処理の専門知識と高度な技術及びデジタルビジネス時代における経営に関する専門知識と高度な技能を修得し、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた、高い志を有する人材に学位を授与します。

⁴ 通信教育部 経営情報学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや社会人としての活動で得た基礎学力、基礎知識、及び思考力を身に付け、本学の通信教育部経営情報学部に興味・関心を持った学生を求めています。

⁵ 通信教育部 経営情報学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

北海道情報大学通信教育部は、「経営情報学」という新しい学問的視座のもとに、「経営」と「情報」の両分野にわたる複合的アプローチを展開します。「経営ネットワーク学科」、「システム情報学科」の2学科を有し、個人の目的や目標に合わせ、基礎から専門内容まで学べます。また、各学科・専攻の内容に合わせた教職課程を設置し、教員免許状の取得を可能とします。

⁶ 通信教育部 経営情報学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学部では、社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用に必要とされる情報処理の専門知識と高度な技術及びデジタルビジネス時代における経営に関する専門知識と高度な技能を修得し、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた、高い志を有する人材に学位を授与します。

II 基準領域ごとの教職課程自己点検・評価

基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標を共有

1 本学教職課程の目標改訂への取組【通学部・通信教育部】

〔現状〕

教職課程における目標は、「一般的な情報処理技術の知識・技術を身に付けるにとどまらず、各種専門分野にまたがる高い知識・技術を習得した教員を養成し、次世代の人材育成に貢献していくこと」と定めている。本目標は、通学部及び通信教育部で共通しそれぞれの HP において公開している「資料 1-1-1」。

〔優れた取組〕

昨年度の教職課程自己点検評価のプロセスにおいて「教職課程の目標は、本学の教育活動の基本であり、本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーとの関連や教職課程教育において育成する資質能力をより明確に示すべきではないか」という指摘があった為、昨年度の教職課程自己点検評価報告書において、今後の取組上の課題とした。今年度は、本学教職課程の目標をさらに分かりやすい内容や表現の改訂に向けて取り組んだ「資料 1-1-2」。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーをふまえている点を明確化
- ・目標に即した 6 つのコンピテンシーを明記
- ・改訂プロセス

5月 教職課程委員会で改訂を行うことを確認

5月～9月 教職専任教員が中心となり改定案を策定

9月 教職課程委員会で改定案を審議・了承「資料 1-1-3」

10月 学部教授会で承認

- ・HPに掲載

課題

- ・全教職員の共通理解
- ・全学生への周知
- ・年度ごとに目標の確認と改善の必要性について論議（3ポリシーや本学の特色，社会の要請をふまえて）
- ・コンピテンシーと学生自己評価項目の整合性についての検証

2 本学教職課程の目標の共有化【通学部・通信教育部】

〔現状〕

これまで，教職課程委員会において目標を口頭で共有してきたが，現在は，報告事項として文書に基づき確認を行うこととしている。

〔優れた取組〕

目標だけではなく，教職課程の年度計画や教職課程自己点検・評価の組織について文書で確認し共通理解を図った「資料1-1-4」。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・年度はじめての教職課程委員会において，教職課程の年度計画や教職課程自己点検・評価の組織について確認を行い，改善の必要性について論議する。

課題

- ・教職課程委員への共通理解だけではなく，全教職員への周知方法の工夫

3 本学教職課程の目標および受け入れ方針の学生への周知【通学部・通信教育部】

〔現状〕

- ・本学教職課程の目標や受け入れについて，教員免許状取得を目指す1年生への教職課程説明会，2～3年生の教職課程登録者向け教職ガイダンスにおいて口頭で

周知している。

〔優れた取組〕

- ・学生への周知を確実にするために、学生配布資料や説明用スライドに本学教職課程の目標および受け入れ方針をわかりやすく明記した「資料 1 - 1 - 5」。
- ・2023 年度の 1 年生は、教職課程説明会を 2 回実施し、教職の科目を 1 ～2 回受講しながら履修を検討した上で登録するようにしている。1 回目の教職課程説明会で教職課程の目標や受け入れ方針等を配布資料や説明用スライドを使用し説明し、2 回目の説明会でも教職課程の目標や受け入れ方針等を配布資料や説明用スライドを使用し充分説明し、理解したうえで教職課程を登録するように案内している。1 回目に参加した 36 名のうち 2 回目の説明会後に教職課程を登録したのは、20 名（55.6%、昨年度 64.1%）であり 2 回目の教職課程説明会に出席しているほぼ全て学生のが、教職課程を履修登録している状況にある「データ 1」。
- ・過去 2 年間のデータから 1 年生における 2 回目の説明会出席者は、1 回目の出席者より約半数より少し多めとなっており、期間をおいて 2 回説明会を実施することで、2 回目に参加する学生は本学の教職課程の目標や受け入れ方針等を理解し教職課程を登録する意思が強いことが伺える。また、この期間において、履修登録するか否かを検討できる期間となっている。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・今年度改訂した教職課程の目標、コンピテンシーの周知と目標に則った受け入れ方針をより理解しやすい学生配布資料や説明用スライドの作成していく。

課題

- ・年度当初から教育実習が行われるため教職ガイダンスを実施できない 4 年生への周知。
- ・学生が本学の教職課程の目標や受け入れ方針等を理解していることを確認するための文書を作成していく。

- ・通信教育は、入学に関する書類に本学の教職課程の目標や受け入れ方針等を確認しているかのチェック欄を設ける。

4 本学教職課程の目標に即したラーニング・アウトカムへの取組【通学部】 〔現状〕

- ・昨年度から本学教職課程の目標や教員育成指標をふまえた学生の自己評価を実施した。
- ・2023年度は1・2年生のみ実施した。

〔優れた取組〕

- ・本学教職課程の目標の見直しとともに、目標との関連から自己評価の見直しを行った。今年度は、教科に関する科目の評価も含めた自己評価を作成するとともに、目標に達成に即した6つの素養（「教育者としての素養」「生徒指導力」「学習指導力」「課題解決力」「ICT活用力」「自己表現力」）の自己評価を視覚化しラーニング・アウトカムの改善を行った「資料1-1-6」。
- ・自己評価は、履修する科目が多い1・2年生は前期と後期に実施して振り返る機会を増やし意識化を図っている。3年生以上は、履修する科目数も減ってくることから年度末に実施するようにしている「資料1-1-6」。
- ・学生の変化を学生の自己評価平均値の度数分布から学年全体の実態把握に努めている。1年生における前期と後期の比較では、「教育者としての素養」「生徒指導力」「学習指導力」「課題解決力」に関する自己評価の平均値が2.50未満の学生数は0に減少した。2年生における1年次終了と2年次終了時点を比較したところ、「生徒指導力」「学習指導力」における平均値3.00以上の学生数が減少し、2.50以上3.00未満の学生数が増加していた。「自己表現力（コミュニケーション能力）」では、自己評価平均値3.00以上3.50未満の学生数が増え全体の7割程度となっていた「データ2」。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・「教職課程の目標」「自己評価」「教職カルテ」を一体化していくロードマップを作成する。

課題

- ・次年度、カリキュラムにおける科目名の変更が行われることから再度、自己評価を見直し項目の整合性を図る。
- ・学生が省察できるよう自己評価に取り組む時間を保証
- ・目標、目標達成の素養に即した項目内容の改善に向けた検証
- ・教職カルテと連動した取組の促進

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 1-1-1：教職課程の目標についての HP への記載【通学部・通信教育部】
- ・資料 1-1-2：改訂を行った本学教職課程の目標【通学部・通信教育部】
- ・資料 1-1-3：教職課程委員会議題（9月）【通学部・通信教育部】
- ・資料 1-1-4：教職課程委員会報告（4月）【通学部・通信教育部】
- ・資料 1-1-5：教職課程説明会，教職ガイダンス資料【通学部】
- ・資料 1-1-6：改訂した学生自己評価【通学部】
- ・データ 1：過去 3 年間の 1 年生教職課程説明会出席者と最終履修者数【通学部】
- ・データ 2：2022 年度，2023 年度自己評価シートによる目標確認状況【通学部】

基準項目 1-2 教職課程に関する組織的工夫

1 教職課程委員会と教職ミーティング【通学部・通信教育部】

〔現状〕

教職課程委員会は、通学部、通信教育部における円滑な教職課程運営の中核となる全学組織であり年間を通じて開催している「資料 1-2-1」。教職課程委員会は、教職課程専任教員 3 名，経営情報学部教員 1 名，情報メディア学部教員 1 名，

教務課長 1 名，通信教育事務部課長 1 名の 7 名から構成されている。教職課程委員会の方針に基づき，実際の運営を担うのは，教職課程専任教員である。そのため教職課程専任教員 3 名と昨年度より参加・協力を得ている教科指導法担当の実務家教員 1 名の 4 名により，定例（毎月 1 回）の教職ミーティングを開催している「資料 1-2-2」。また，本学の通信教育部においても教職課程が設置されていることから，教職専任教員 1 名が通信教育委員となり，教職課程に関わる内容について，教職ミーティングにおいて情報共有している。

〔優れた取組〕

- ・今年度は，年度当初の教職課程委員会において，教職課程委員会が教職課程自己点検評価の中核組織であることや教職課程委員会の年間計画を明記し，教職課程委員会において共通理解を図ることとした。
- ・教職ミーティングにおいて，分担した教職課程自己点検評価の進捗状況の確認や通信教育委員会の報告を行った。
- ・教職専任教員間で通信教育委員会の教職課程に関する内容を共有するために，3 回目以降の教職ミーティングにおいて通信教育委員会の報告を位置づけて行うこととした。

〔改善の方向性・課題〕

- ・教職課程委員会の委員のみならず，本学教職課程に関係する教職員に教職課程の取組へ共通理解を図る。

2 ICT 教育環境と活用【通学部・通信教育部】

【通学部】

〔現状〕

本学は，建学の理念のもと，IT のプロフェッショナル育成に向け，通学部の全学生に無償でノート PC を貸与している。Moodle をカスタマイズした学習者適応型 e ラーニングシステム POLITE（以降 POLITE と記す）を構築しており，学生には，オ

ンラインによる教材提示や課題提示，回答，フィードバック，テスト等などに取り組むことができる環境を提供している。また，高性能なデスクトップ PC を備えた実習室や学内全域で接続可能な高速 Wi-Fi，アクティブ・ラーニングのための最先端の設備や施設を整備するとともに，学生は学内・学外において Office や Adobe 製品などの最新版ソフトウェアを利用することができる環境を整えている

また，電子黒板 BIG PAD を教室に設定し，模擬授業等で使用し，ICT 教育や教育改革に対応した授業を行える設備を提供している。「資料 1 - 2 - 3」「データ 1」「資料 1 - 2 - 4」「資料 1 - 2 - 5」。

〔優れた取組〕

- ・教職課程の各科目においても POLITE を活用した教材提示や課題提示，回答，フィードバック，テスト等を実施するとともにアクティブ・ラーニング室を活用し，従来の教育の良さと情報通信技術を融合した講義を実践し，次代の教育を担う教員養成に尽力している。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・本学の最先端の設備や施設を教育実践に有効活用していく。

課題

- ・学生に本学で身につけた教育実践を設備や施設の実態が異なる教育現場で応用できるスキルを身につけさせていく。

【通信教育部】

〔現状〕

通信教育部においても，オンライン上での諸手続き，シラバス閲覧，学習プリントのダウンロード，実習提出物の提出，インターネット科目試験，教育実習事前の知識確認テストの受験が可能となるプラットフォーム（「無限大キャンパス」と呼称している）を整備している「資料 1 - 2 - 6」。

〔優れた取組〕

通信教育部においては、今年度これまでの「無限大キャンパス」に加え、通学部同様の Moodle をカスタマイズした POLITE を併用した ICT 環境を整備した「資料 1 - 2 - 7」。

通信教育部の ICT 環境を活用し、教育実習に行く学生には、通学部学生に行っている事前指導（教育実習に向けての諸注意、教育実習日誌の記入の仕方、授業方法、特別活動、総合的な探究の時間、生徒指導、模擬授業、教育実習報告会）の動画を視聴している。教育の変化に対応し毎年少しずつ最新の動画に更新を行っている。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

教育実習に向けて、教職課程専任教員が通学部学生の教育実習報告会から学生を抽出し、学生の承諾を得て別途同様の内容で動画撮影を行い、動画の更新を行うこととした「資料 1 - 2 - 8」。

課題

通信教育部学生の教育実習に役立つ最新の模擬授業や教育実習報告会などの動画を適宜更新し、本学で取得できる全ての教員免許状（数学・商業・情報）について情報提供していく計画である。提供する内容が、通信教育部の学生のニーズに答えるものとなっているかについての検証方法

3 FD（電子黒板を活用した授業展開）【通学部】

〔現状〕

- ・昨年度より FD 委員会の協力のもと、教職課程に関する内容を FD として実施

〔優れた取組〕

- ・今年度「電子黒板を活用した授業展開」として FD に参画し、教職課程における電子黒板を使用した授業実践について発表を行い、FD への取組を行った【資料 1 - 2 - 9】。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・教職課程における指導を全教職員で理解し、教職課程に関する共通理解と学生指導に向けての協働体制の確立。

課題

- ・教職課程に関係する科目を担当する教員のニーズと教育現場のニーズを関連づける効果的なFDのあり方

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 1-2-1 : 教職課程委員会議題
- ・資料 1-2-2 : 教職ミーティング議題
- ・資料 1-2-3 : ICT 教育環境① <本学入試広報室広報課資料提供>【通学部】
- ・資料 1-2-4 : ICT 環境② (115 教室) <本学教務課資料提供>【通学部】
- ・資料 1-2-5 : BIGPAD カタログ【通学部】
- ・資料 1-2-6 : プラットフォーム「無限大キャンパス」【通信教育部】
- ・資料 1-2-7 : 通信教育部における POLITE【通信教育部】
- ・資料 1-2-8 : 教育実習報告会の動画更新【通信教育部】
- ・資料 1-2-9 : FD 研修会における教職課程の授業実践【通学部】
- ・データ 1 : 本学の ICT 環境

基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援

基準項目 2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

1 教職課程履修者受け入れ方針の周知【通学部・通信教育部】

〔現状〕

1 年生対象の教職課程説明会、2・3 年生対象の教職ガイダンスを実施（教職課程を履修している 1～3 年生は出席必須）し、本学教職課程の目標とともに受け入れ方針を示している。

〔優れた取組〕

昨年度までは、口頭により本学教職課程の目標や受け入れ方針を示してきたが、学生への配布資料やスライドに明記し学生への意識を高めることとした【資料：2-1-1】。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

今年度実施した本学教職課程の改訂した目標の学生への周知とともに、学生が理解したことを確認できる仕組みを整備していく。

課題

- ・本学教職課程の改訂した目標や受け入れ方針は、前期・後期で行うことで学生に意識化させていきたいが、後期開始時の時間的余裕の不足。
- ・教職課程科目を担当する教員間での改訂した教職課程の目標についての共通理解の方法。

2 オープンキャンパスによる学生確保への取組

〔現状〕

本学では、年 10 回程度オープンキャンパスを実施しているが、2018 年度以前には、教職課程の授業はなかった。2019 年度に 1 回実施して以降、教職専任 3 名が各 1 回模擬授業を実施するようになってきた。

〔優れた取組〕

学生確保に向け、広報課と連携し、例年の参加者の動向から教職課程が参加する時期を特定し、オープンキャンパスにおいて教職課程専任教員3名が教職課程の本学教職課程の紹介を含め、模擬授業を実施している【資料：2-1-2】。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・教職課程専任教員の模擬講義とともに教職課程の説明を入れる。

課題

- ・3回のオープンキャンパスでの模擬授業を実施し、7名の参加者があり参加生徒を増加するための方法や開催時期について広報課と協議

3 本学の教職課程に関する学生へのアンケート調査【通学部】

〔現状〕

昨年度より、本学の教職課程についての情報をいかに入手したかについて学生へのアンケートを実施した。

〔優れた取組〕

昨年度に引き続き、教職課程履修学生が本学の教職課程についての情報先のアンケート調査を行い、昨年度の結果をふまえ、動向を明らかにすることとした。また、今年度は、今後の学生確保に向け本学教職課程の履修を決定した時期についても調査を行った。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

2022年度入学生、2023年度入学生ともに本学の教職課程について知ったきっかけとしては、本学のHP、高校教員、オープンキャンパスと回答していた割合が高かった【データ1】。また、本学の教職課程を履修することを決意した時期は7割が入学前、3割が入学後であった【データ2】。

課題

- ・本学の入学前においても教職課程の目標や受け入れ方針，必要とされる素養などについて周知していく必要がある。
- ・2022年度，2023年度において，入学後に履修を決めた学生が3割であったことから，今後も入学後の説明会で丁寧に説明を実施していく。経年変化のデータから教職課程説明会の充実を図っていく。
- ・9月に実施されたカリキュラム・アドバイザーリーボード会議でのアドバイザーから，高校教員に本学教職課程の目標や受け入れ方針，必要とされる素養などについて伝える方法としてポスター等の作成，配布という助言があった。広報課と連携しながら効果的な取組方法について協議する。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 2-1-1：教職課程説明会，教職ガイダンスにおける受け入れ方針の提示
- ・資料 2-1-2：オープンキャンパスにおける取組
- ・データ 1：教職課程履修に関する学生アンケート結果
- ・データ 2：学生が本学の教職課程を履修することを決めた時期

基準項目 2-2 教職へのキャリア支援

1 教員採用情報の提供と学生の教職キャリアに対する意識の実態把握【通学部】 〔現状〕

- ・1年生対象の教職課程説明会，2・3年生対象の教職ガイダンスを実施（教職課程を履修している1～3年生は出席必須）し，教員採用状況や最新の動向を周知している【資料：2-2-1】。
- ・昨年度より，教職課程を履修している1～4年生までの全学生を対象とし，教職に関する意向調査を実施している。
- ・教員採用状況については，HPで公表している。昨年度より，本学における教員採用数の推移を調査し，教職員間で情報共有し学生への指導・支援に活かし

ている【データ1】。

〔優れた取組〕

・教職意向調査を毎年実施し、学生の意向を把握している。その結果、大学卒業時に教員を目指す学生が33.3%（2022年度調査）から40.5%（2023年度調査）に増加。教員になるかどうか迷っている学生は、37.2%（2022年度調査）から24.1%（2023年度調査）に減少した。教員は目指さない学生も5.1%（2022年度調査）から3.8%（2023年度調査）に減少していた【データ2】。明確な意思を持っている学生が増加していることが明らかになった。このような学生の意識を教職専任教員で共有し、講義や学生指導にあたっている。今年度は、北海道の教員採用試験が12月にされることとなり、3年生全員に情報提供を行った。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・学生が教職キャリアについて考えるための最新の教員採用試験や採用試験の情報は、年度当初の教職課程説明会や教職ガイダンスのみであったが、情報提供の機会を増やし、学生の教職キャリアへの意識を高めていく。

課題

- ・教員の魅力を伝える工夫
- ・教員を目指す学生の意思を維持させる取組

【通信教育部】

〔現状〕

本学通信教育部における教員採用状況をHPで公開している。通信教育部のHPから教職課程（教員免許）情報にアクセスしやすいよう工夫している【資料：2—2—2】。

〔優れた取組〕

教職キャリアの支援として、本学通信教育部ポータルサイト「無限大キャンパス」

において教育人材総合支援ポータルサイトを開設している【資料：2—2—2】。

〔改善の方向性・課題〕

通信教育部正科生として、教員免許状を取得し教員採用に至っている人数は少ないが、既に教員免許状を取得され、キャリアアップとして本学通信教育部で他の教員免許状を取得する学生がいることから、次年度この実態を明らかにしていく。

2 キャリア支援としての複数科目の教員免許状取得への働きかけ【通学部】

〔現状〕

1年生対象の教職課程説明会、2・3年生対象の教職ガイダンスを実施（教職課程を履修している1～3年生は出席必須）し、昨年度における本学カリキュラム・アドバイザーボード会議における助言もふまえ、教職キャリア支援を充実させることを目的とし複数科目の教員免許状取得を推奨している。

〔優れた取組〕

- ・教職説明会や教職ガイダンスにおいて、教員採用試験の実施時期、内容、倍率、本学における教員採用状況、本学で教員を目指すことの強み、教員に求められる素養などについて最新の情報を学生に提供している。

- ・複数履修者が増加した【データ3】。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・引き続き、教員採用試験の実施時期、内容、倍率、本学における教員採用状況、本学で教員を目指すことの強み、教員に求められる素養などについて最新の情報を提供するとともに複数教科の教員免許状取得の利点について説明していく。

課題

- ・複数教科の教員免許状取得に向け、複数の教科指導が可能となる程度にまでいかに学生の知識・技能を高めていくか。

3 教職キャリア支援としての資格取得支援【通学部】

〔現状〕

・ピアヘルパー，准学校心理士を取得できる教職課程が用意されており，学生に受験や申請について周知している。ピアヘルパーについては，2020年度のコロナ禍による試験中止年度以外高い合格率となっている【データ4】。2023年度は，3名の4年生が准学校心理士を申請し資格取得できた【データ4】。

〔優れた取組〕

- ・ピアヘルパー受験に向けての自主ゼミ（Jゼミ）を開催し，学修支援にあたっている。
- ・ピアヘルパー受験について，学生に周知する際に前年度の合格体験記をスライドで紹介し意欲を喚起している。

〔改善の方向性・課題〕

- ・ピアヘルパー，准学校心理士に加えて教職キャリアに役立つ資格についての情報収集を行う。

4 自主ゼミ（Jゼミ）による教員採用試験に向けての取組【通学部】

〔現状〕

教職課程専任教員が教員採用試験に向け，教職課程3年生以下を対象として，本学の特色の1つである自主ゼミ（Jゼミ）を開講している【資料2-2-3】。

〔優れた取組〕

今年度は，Google Classroomを活用した取組を行っており【資料2-2-3】，3年生5名が参加し教員採用試験に向けて取り組んでいる。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

全国で教員採用試験を早期化する傾向がみられることに鑑み，Jゼミの対象や開講内容を精選していく。

課題

都道府県により教員採用試験の早期化への進捗及び時期が異なることから、各都道府県の教員採用試験に即した効果的な取組について模索する。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料2-2-1：教職課程説明会，教職ガイダンスにおける教員採用状況及び最新動向の情報提供
- ・資料2-2-2：教員採用試験情報の情報提供【通信教育部】
- ・資料2-2-3：教員採用試験対策自主ゼミ（Jゼミ）
- ・データ1：教員採用状況【通学部】【通信教育部】
- ・データ2：学生の教職意向調査結果【通学部】
- ・データ3：複数科目履修者の推移【通学部】
- ・データ4：ピアヘルパー合格率と准学校心理士申請者数の推移【通学部】

基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

1 教職科目における科目間関連の明確化【通学部・通信教育部】

〔現状〕

教職課程での、「基礎的理解に関する科目」、「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」は，互いに関連している内容を科目の特性に応じて講義を行っている。そこで昨年度，通学部における教職科目における科目間関連を各科目で使用しているキーワードから明らかにした。

〔優れた取組〕

令和5（2023）年度は，通学部における教職科目の科目間関連についてシラバスと関連図の冊子を作成し，これを関係科目の教員に配布し関係科目の教員間で情報共有を行った。これにより，各教員が，教職課程の科目の系統，学習内容の関連性

について共通理解を図り、学生が系統的・発展的な学びを深めていくことを目指す

【資料 3-1-1】。

通信教育部においても、令和 5（2023）年度に教職課程の科目の系統、学習内容の関連性について共通理解を図り、学生が系統的・発展的な学びを深めていくことを目的とし、情報収集し科目間関連図を作成することとした **【資料 3-1-2】**。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

教員間で情報共有しているキーワードを学生に知らせ、科目間の関連を意識させていく。

課題

- ・ 学生への提示の仕方と効果的な提示の時期
- ・ 通信教育部は、科目の配当年次がないことから科目間の関連をどのように意識化させていくか。

2 カリキュラム・アドバイザーボード会議における助言【通学部・通信教育部】

〔現状〕

昨年度より、本学の教職課程カリキュラムの改善・充実に向け、本学のカリキュラム・アドバイザーボード会議（9月開催）において取組についての説明を行い、教育現場の実態に精通したアドバイザーから助言を受けている。今年度は、昨年度のアドバイザーからの助言から下記の内容について重点的に取り組むこととした。

- ①. 北海道の教員採用試験の状況から「情報」+「商業」または「数学」等、複数免許取得者増加を望む。
- ②. 教育現場ではコミュニケーション能力が重要。どのように学生の自己評価に取り入れていくかが重要である。
- ③. 教科の専門性について

教員に採用された場合、教える科目は決まっていない。小規模な学校では、学

習指導要領にある科目を知っている必要がある。全てに深く覚える必要はなくても、生徒に教える可能性がある。教職を目指す学生には、専門科目を一通り触れる機会の設定を望む。

④. 教育実習生について

教育実習に来る学生には、知識ばかりではなく、人間性を養う教育を大切にしていけることを望む。教員も社会人であることから、コミュニケーション能力や協調性、向上心など、社会人基礎力が必要。教員は、一番多感な年代である中・高生に影響を与えることを認識し、一般教養やモラルを身につけ、他者と協力し合える教育者であることが必要である。

〔優れた取組〕

①, ④について、教職説明会、教職ガイダンスにおいて教育現場からのニーズとして学生に説明した【資料 3-1-3】。

②について、昨年度の自己評価項目におけるコミュニケーションに関する項目の見直しを行った【資料 3-1-4】。

③について、商業科教育法担当教員による実践を教職ミーティングにおいて教職専任教員間で共有するとともに、令和 5 (2023) 年度カリキュラム・アドバイザーボード会議において、実践報告を行った【資料 3-1-5】。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・他科目の教科教育指導法と教育実習 I および教職実践演習における一貫した指導にむけての情報共有
- ・教職説明会、教職ガイダンスの内容について年間を通して学生が意識できるような機会の創設

課題

- ・教員として求められる人間力についての教職専任教員間の共通理解と学生への指導方法の共有化

3 教職実践演習における ICT を活用した授業への取組【通学部】

〔現状〕

昨年度より教職実践演習における学生の模擬授業において ICT 活用は必須としている。今年度は、教育実習前の指導となる教育実習 I における学生の模擬授業から教職実践演習における ICT 活用について説明を行っており、教育実習 I 時点から ICT 活用する学生もみられた。

〔優れた取組〕

2022 年度の教職実践演習における学生の模擬授業では、ICT 活用を取り入れ、指導案にも記載するよう指導を開始した。学生の模擬授業では、板書機能として黒板と PC のプレゼンテーションソフトの活用を併用する学生の割合が高かった。遠隔授業用ツール利用による Classroom による課題提示、提出、授業アンケート、小テスト、ホワイトボード機能などを活用する授業もあった。2023 年度は、教職実践演習の初回の講義において、電子黒板の使用等 ICT 活用の意義と方法について指導を行った。その結果、電子黒板を使用した授業を含め、全学生が模擬授業に ICT 活用ができた【データ 1】。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・本学の強みである情報通信技術に関する知識・スキルを活かし、教職課程の科目である「ICT 活用の理論と実践」「各教科指導法」「教育実習 I」「教職実践演習」を関連づけスキルアップできる体制を整備する。

課題

- ・教育現場における ICT 活用の実態が学校により異なることから、教育実習との関連をいかに行っていくか。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 3 - 1 - 1 : 通学部の教職科目間の関連図の冊子

- ・資料 3-1-2：通信教育部の教職科目間の関連図の冊子
- ・資料 3-1-3：教職説明会，教職ガイダンス資料
- ・資料 3-1-4：学生自己評価のコミュニケーションに関する項目変更
- ・資料 3-1-5：カリキュラム・アドバイザーボード会議における商業科教育法の実践報告
- ・データ 1：教職実践演習における ICT 活用の実態

基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

1 学校ボランティア等への参加啓発（教育委員会との組織的な連携体制）

〔現状〕

教員としての素養を高めるためには、学生が主体的に学校ボランティアに取り組み教育現場の実態や教員として姿勢について学ぶことが重要である。本学においては、大学の所在地にある江別市教育委員会の学校ボランティアへの参加を学生に奨励しており、今年度は4名が参加した【データ 1】。過去6年間の学生の参加学年をみると、のべ参加学生の53.3%が3年次で学校ボランティアに取り組んでいることが明らかになった【データ 1】。

〔優れた取組〕

4月の学校ボランティア募集時期に募集要項の説明とともに前年度学校ボランティアに参加した学生の感想を紹介し参加への意欲を喚起している【資料 3-2-1】。今年度、北海道教育委員会主催の「草の根教育実習」を学生に紹介し3名が参加した【データ 1】。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・学生が教育実習の前に連続して「理論と実践の往還」の場として教育現場における体験機会に関する情報を提供し参加を促す
- ・学校ボランティア等参加が多い学年の傾向をふまえた効果的な情報提供

課題

- ・ 学校ボランティア等への参加意欲の喚起方法
- ・ 参加可能な学校ボランティア等の情報収集
- ・ 学生が参加しやすい学校ボランティア等の期間や時間の確保

2 介護等体験の充実【通学部・通信教育部】

〔現状〕

- ・ 本学では、通学部と通信教育部において中学校教員免許状取得希望者に対し、介護等体験を実施している。
- ・ 介護等体験は、毎年 11 月に説明会を実施し、参加申し込みを受け付けている。翌年 2 月に介護等体験事前指導を 1 日（4 講義）実施している。
- ・ 介護等体験における実習先について、社会福祉施設 5 日間は、社会福祉協議会が実習先の調整を行い、特別支援学校 2 日間は、北海道教育委員会が実習先との調整を行っている。
- ・ 最近では、通信教育部の介護等体験を実施する人数が増えてきている【データ 2】

〔優れた取組〕

- ・ 例年、実習を行った学生には、介護等体験実習終了後に、体験を振り返りレポートを課していた。今年度、介護等体験での経験を教育実習に繋げていくことを目的として、「介護等体験を教育現場でどのように生かしていきたいか」というテーマとした【資料 3 - 2 - 2】。
- ・ 介護等体験事前指導を通学部学生と通信教育部学生が合同で実施し通学部生と通信教育学部生が共に学び合う場を設定している。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・ 3 年次に取り組む介護等体験や学生ボランティア等の体験を単独の取組で終わることなく、学生が教育現場における体験活動を 4 年次に取り組む教育実習や教

員採用試験と関連づけていけるよう連続性のある取組としていく。

課題

- ・介護等体験は、中学校教員免許状を取得する学生のみが実施する。また、学生ボランティア等の参加は任意であり、教育現場を体験した学生の体験を全教職課程履修学生にどのように還元していくか。

3 教育実習の充実【通学部・通信教育部】

〔現状〕

1～3年生の教職課程受講者は4年生が行う教育実習報告会に参加し、4年次の教育実習に対するイメージや必要とされる準備、心構えについて学ぶ。3年次2月には教育実習事前指導に参加し、教育実習Ⅰにおいて模擬授業や授業改善に向けての協議を実施している。

教育実習事前指導では、教育実習におけるハラスメントの事例と防止対策を説明し、本学における学生の相談窓口を周知している。

教員は、北海道の教育実習中に教育実習指導訪問を行っている。教育実習指導訪問は、北海道内に限定して通学部、通信教育部の学生が教育実習を行っている学校に訪問している（2023年度は22校訪問）。

〔優れた取組〕

- ・教育実習Ⅰ、教育実習、教職実践演習を充実させるという視点から、大学における指導と教育現場における指導に解離が生じないように、教育実習指導訪問の際、教育実習校の教員に教育実習生として求められる能力・態度について意見収集を行い、教員間で共有し指導に取り組んでいる【資料3-2-3】。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・教育実習校のニーズを学生に伝達し、意識化を図るとともに教育実習関連の指導に活かしていく。

課題

- ・教育実習校の多様なニーズは、必ずしも学生の教育実習校のニーズに合致しない可能性があり、教育実習に向けたミニマム・エッセンシャルズを同定することに困難がある。

4 通信教育部の教育実習における学生ニーズの把握【通信教育部】

〔現状〕

- ・通信教育部に在籍する学生の教育実習校は、全国各地に及んでいる【データ 3】。
- ・通信教育部で教育実習を行う学生は、教育実習 I の動画教材により、通学部 of 学生に実施する事前指導と同様の内容を提供している「資料 3-2-4」。
- ・昨年度の教育実習生指導訪問時に通信教育部教育実習生より、教育実習に臨むにあたっての不安を感じていたことが明らかになった。

通信教育部に在籍する学生の教育実習生は、年々増加傾向にある【データ 4】。

〔優れた取組〕

- ・学生に対して、教育実習前に動画視聴とともに教職に関する基礎知識についてオンライン上で教育実習前 e テストを受験させ、知識・理解の確認・定着を図っている「資料 3-2-4」。

また、通信教育部学生が、「教育実習 I」と「教育実習 II・III」の関連が理解できるよう「教育実習 I」「教育実習 II・III」におけるレポート課題に一貫性を持たせることとした「資料 3-2-5」。

- ・教育実習前の不安に対してメールで対応できるようにしたが、相談はなかった。
- ・教育実習中もメールによる相談は受けており、勤務日、教育実習日誌の記載方法、研究授業についての質問があり回答した。
- ・通信教育部の教育実習生指導訪問時に通信教育部の学生から教育実習における不安等についての調査を実施し状況を把握し教員間で共有した。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・通信教育部のプラットフォーム「無限大キャンパス」に教育実習前に相談窓口やメールアドレスをより分かりやすく明記する。

課題

- ・教育実習を行う学生の増加に伴い、教育実習後に実施している教職実践演習の効果的な実施や対応に限界がある
- ・教育実習校が全国各地であるため、各教育実習校との緊密な連携が困難であったり、地域や学校の実態が多岐に及んでいたりしているため、大学と教育実習校との間で共通理解を得ることが難しい。次年度は、教育実習校へのアンケートを実施していく。

5 教育的実践力の養成【通学部】

〔現状〕

- ・学生は教員免許状を取得する場合、卒業要件以外に教職課程の単位を履修する必要がある。学生が、卒業要件科目の単位修得とともに教職課程に関する科目の単位を修得するために過度な負担とならぬよう科目を厳選して開講している。

〔優れた取組〕

学生が、教職に関する理論に基づく教科指導といった実践的指導力を身につけるには、計画的・継続的な地道な取組が必要である。このような実践的指導力は教育実習校が教育実習生に求める力量として強く求められていることが教育実習指導訪問の際に多くの教育現場からも聞かれた。そこで、今年度より本学Jゼミにおいて、学年を問わず教科指導に関する実践力を切磋琢磨する機会を創設した「資料3-2-6」。

〔改善の方向性・課題〕

改善の方向性

- ・学生の自主性を尊重しつつ教育実践力を身につける場として、広く学生にJゼミ

を周知し参加を促し教育実践力を育成していく。

課題

- ・学年の時間割が異なることからいかに時間を確保していくか。
- ・学年間の既習事項や教職に関する知識や学習指導案作成や授業力の習得度の個人差への対応
- ・Jゼミに参加しない学生との教育実践力の差をいかに埋めていくか。

<根拠となる資料・データ等>

- ・資料 3-2-1 : 学生ボランティアに向けての意欲喚起への取組
- ・資料 3-2-2 : 介護等体験のレポート課題
- ・資料 3-2-3 : 教育実習校からの情報収集
- ・資料 3-2-4 : 教育実習 I 動画コンテンツと e テスト
- ・資料 3-2-5 : 教育実習 I と教育実習 II・III を関連付けた課題
- ・資料 3-2-6 : 教育実践力を培う Jゼミ
- ・データ 1 : 学生ボランティア及び草の根教育実習の参加者数
- ・データ 2 : 介護等体験実施者数の推移
- ・データ 3 : 通信教育部における教育実習先の地域と校種
- ・データ 4 : 通信教育部における教育実習生数の推移

Ⅲ 総合評価（全体を通じた自己評価）

教職課程自己点検評価における3基準領域6基準項目及び総合評価に関して、本学教職課程自己点検評価の中核組織である教職課程委員会において、3月に協議を行い各委員による評価を実施した。定量評価として6基準項目において4：達成できている、3：やや達成できている、2：あまり達成できていない、1：達成できていない、の4件法で実施し、その平均値を教職課程委員会における自己評価点とした。また、定性評価として基準項目に関する現状等ふまえた評価に関する協議の内容を記す。なお、全評価者数は7名であり、自己評価点は小数第2位を四捨五入したものである。

基準領域	基準項目	自己評価点
基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み	基準項目1-1 教職課程教育の目的・目標の共有	3.9
	基準項目1-2 教職課程に関する組織的工夫	3.9
基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援	基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成	3.4
	基準項目2-2 教職へのキャリア支援	3.4
基準領域3 適切な教職課程カリキュラム	基準項目3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施	3.9
	基準項目3-2 実践的指導力育成と地域との連携	3.7

評価について

委員による自己評価の平均値は、全ての基準項目において昨年度と同等または上回る値であった。特に基準領域1は、本学教職課程の目標を見直し、具体的なコンピテンシーを示したことが教職課程委員に高く評価された。また、昨年度に引き続き、学生の状況をアンケート等によりデータ化していたことや全体を通して、昨年度の課題を踏まえ、改善された点が多かったことが優れた点である。しかし、基準領域2は、他の基準領域と比して平均値が低かった。ここでは、通信教育部のキャリア支援でできることへの取組や学生の教育実践力の育成のあり方についての課題が指摘された。次年度は、継続的なデータ収集と分析から課題解決に取り組むとともに、今年度各基準領域の基準項目で示している課題の解決に取り組む、本学の特色を活かした教職課程カリキュラムの実現を目指していく。

IV 「教職課程自己点検・評価報告書」作成プロセス

- 5月
 - ・組織体制の確認および教職課程自己点検報告書作成計画の承認
 - ※3 基準領域 6 基準項目における資料収集内容の決定
 - ※アンケート調査及び資料収集開始
 - ・全国私立大学教職課程協会第42回研究大会における情報収集
- 7月
 - ・北海道私立大学・短期大学教職課程研究連絡協議会
定期総会・研究大会において情報収集
 - ・収集データの分析開始
- 9月
 - ・カリキュラム・アドバイザーリーボード会議において教職課程自己点検
評価の取組経緯と進捗状況の報告とアドバイザーからの助言
 - ・9月20日（水）FD委員会主催の教職課程の研修会（電子黒板の使い方）を実施
- 10月
 - ・教職課程委員会（教職課程自己点検評価中核組織）において進捗状況
の報告
- 11月
 - ・2023年度全国私立大学教職課程協会研究交流集会にて情報収集
 - ・教職課程自己点検報告書への記載開始
- 3月
 - ・教職課程委員会において教職課程自己点検評価報告書（案）について
の協議を経て、修正・加筆
 - ・経営情報学部長による教職課程自己点検評価報告書全体評価の記載
 - ・教職課程委員会において教職課程自己点検評価報告書の完成（決定）
- 4月
 - ・学部教授会において教職課程自己点検評価報告書の提案と承認
- 5月
 - ・教職課程自己点検評価報告書の提出・ホームページでの公開

V 現況基礎データ一覧

令和5年5月1日現在

【通学部】

法人名					
電子開発学園					
大学・学部名					
北海道情報大学 経営情報学部					
学科・コース名（必要な場合）					
先端経営学科，システム情報学科					
1 卒業者数，教員免許状取得者数，教員就職者数等					
① 昨年度卒業者数					105
② ①のうち，就職者数 (企業，公務員等を含む)					80
③ ①のうち，教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)					9
④ ②のうち，教職に就いた者の数 (正規採用＋臨時的任用の合計数)					2
④のうち，正規採用者数					1
④のうち，臨時的任用者数					1
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他（特任講師）
教員数	20	6	5	0	1
相談員・支援員など専門職員数					

【通信教育部】

法人名					
電子開発学園					
大学・学部名					
北海道情報大学 経営情報学部					
学科・コース名（必要な場合）					
経営ネットワーク学科，システム情報学科					
1 卒業者数，教員免許状取得者数，教員就職者数等（通信教育部）					
⑤ 昨年度卒業者数					505
⑥ ①のうち，就職者数 (企業，公務員等を含む)					402
⑦ ①のうち，教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)					16
⑧ ②のうち，教職に就いた者の数 (正規採用＋臨時的任用の合計数)					1
④のうち，正規採用者数					1
④のうち，臨時的任用者数					0
2 教員組織（通信教育部）					
	教授	准教授	講師	助教	その他（ ）
教員数	14	4	4	0	
相談員・支援員など専門職員数					

令和5年度

教職課程

自己点検・評価報告書

<根拠となる資料・データ等>

北海道情報大学

経営情報学部

令和6年3月

目次

基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み	1
基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標を共有	1
資料 1-1-1 : 教職課程の目標についての HP への記載【通学部・通信教育部】...	1
資料 1-1-2 : 改訂を行った本学教職課程の目標【通学部・通信教育部】.....	3
資料 1-1-3 : 教職課程委員会議題 (9月)【通学部・通信教育部】.....	4
資料 1-1-4 : 教職課程委員会報告 (4月)【通学部・通信教育部】.....	6
資料 1-1-5 : 教職課程課程説明会、教職ガイダンス資料【通学部】.....	7
資料 1-1-6 : 改訂した学生自己評価【通学部】.....	8
データ 1 : 過去 3 年間の 1 年生教職課程説明会出席者と最終履修者数【通学部】	9
データ 2 : 2022 年度、2023 年度自己評価シートによる目標確認状況【通学部】	10
基準項目 1-2 教職課程に関する組織的工夫	11
資料 1-2-1 : 教職課程委員会議題.....	11
資料 1-2-2 : 教職ミーティング議題.....	16
資料 1-2-3 : ICT 教育環境① <入試広報室広報課資料提供>【通学部】.....	25
資料 1-2-4 : ICT 環境② (115 教室) <本学教務課資料提供>【通学部】.....	28
資料 1-2-5 : BIGPAD カタログ【通学部】.....	30
資料 1-2-6 : プラットフォーム「無限大キャンパス」【通信教育部】.....	31
資料 1-2-7 : 通信教育部における POLITE【通信教育部】.....	33
資料 1-2-8 : 教育実習報告会の動画更新【通信教育部】.....	33
資料 1-2-9 : FD 研修会における教職課程の授業実践【通学部】.....	34
データ 1 : 本学の ICT 環境.....	35
基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援	36
基準項目 2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成	36
資料 2-1-1 : 教職課程説明会、教職ガイダンスにおける受け入れ方針の提示...	36
資料 2-1-2 : オープンキャンパスにおける取組.....	37
データ 1 : 教職課程履修に関する学生アンケート結果.....	38
データ 2 : 学生が本学の教職課程を履修することを決めた時期.....	38
基準項目 2-2 教職へのキャリア支援	39
資料 2-2-1 : 教職課程課程説明会、教職ガイダンスにおける教員採用状況及び最新 動向の情報提供.....	39
資料 2-2-2 : 教員採用情報の情報提供【通信教育部】.....	40
資料 2-2-3 : 教員採用試験対策自主ゼミ (Jゼミ).....	41
データ 1 : 教員採用状況【通学部】【通信教育部】.....	43
データ 2 : 学生の教職意向調査結果【通学部】.....	44
データ 3 : 複数科目履修者の推移【通学部】.....	45
データ 4 : ピア・ヘルパー合格率の推移と准学校心理士申請者数の推移【通学部】	46
基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム	47

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施	47
資料3-1-1：通学部 <small>の</small> 教職科目間 <small>の</small> 関連図 <small>の</small> 冊子.....	47
資料3-1-2：通信教育部 <small>の</small> 教職科目間 <small>の</small> 関連図 <small>の</small> 冊子.....	48
資料3-1-3：教職説明会、教職ガイダンス資料.....	49
資料3-1-4：学生自己評価 <small>の</small> コミュニケーション <small>に関する</small> 項目変更.....	50
資料3-1-5：カリキュラムアドバイザー <small>リー</small> ボード会議 <small>における</small> 商業科教育法 <small>の</small> 実践報告.....	51
データ1：教職実践演習 <small>における</small> ICT活用 <small>の実態</small>	52
基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携	53
資料3-2-1：学生ボランティア <small>に向けての</small> 意欲喚起 <small>への</small> 取組.....	53
資料3-2-2：介護等体験 <small>の</small> レポート課題.....	54
資料3-2-3：教育実習校 <small>からの</small> 情報収集.....	55
資料3-2-4：教育実習I <small>動画</small> コンテンツ <small>と</small> eテスト.....	58
資料1-2-5：教育実習I、教育実習II・III <small>を</small> 関連付けた課題【通信教育部】...	60
資料3-2-6：教育実践力を培うJゼミ.....	62
データ1：学生ボランティア及び草 <small>の</small> 根教育実習 <small>の</small> 参加者数.....	63
データ2：介護等体験実施者数 <small>の</small> 推移.....	64
データ3：通信教育部 <small>における</small> 教育実習先 <small>の</small> 地域と校種.....	64
データ4：通信教育部 <small>における</small> 教育実習生数 <small>の</small> 推移.....	65

基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

基準項目1-1 教職課程教育の目的・目標を共有

資料1-1-1:教職課程の目標についての HP への記載【通学部・通信教育部】

【通学部】 <https://www.do-johodai.ac.jp/education/teachingprofession/>

The screenshot shows the top navigation bar of the University of Hokkaido Information Science website. It includes the university logo, the name '北海道情報大学', and several menu items: '大学案内', '教育・研究', '社会連携', '国際交流', and a blue button for '受験生サイト'. Below the navigation bar is a breadcrumb trail: '北海道情報大学TOP > 教育・研究 > 教職課程'. The main heading '教職課程' is centered on the page.

This screenshot shows a section titled '教育職員免許法施行規則第22条の6に基づく情報公開'. Below the title, there is a numbered list starting with '1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること'.

【通信教育部】 <https://tsushin.do-johodai.ac.jp/learning/teaching.php>

The screenshot shows the 'Teaching Course (Teacher License)' page. It features the department logo and name '北海道情報大学 通信教育部'. The main heading is '教職課程 (教員免許)'. Below this, it states: '通信教育部においても教職課程の履修により「高等学校教諭1種免許状(情報)(商業)(数学)」及び、「中学校教諭1種免許状(数学)」を取得可能'. At the bottom, there are several red buttons with arrows pointing right: '教員免許状の修得単位について', '履修科目一覧', '教育実習について', '募集要項はこちら', and '入学説明会はこちら'.

This screenshot shows the 'Information Disclosure' section. It features the department logo and name '北海道情報大学 通信教育部'. The main heading is '教育職員免許法施行規則第22条の6に基づく情報公開'. Below this, there are two numbered items, each with a blue 'Click!' icon: '1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること' and '2 (1) 教員の養成に係る組織及び教員の数'.

【通学部・通信教育部】共通した目標 本学 HP より

教員の養成の目標及び 当該目標を達成するための計画に関すること

教員の養成の目標

今日、経済・社会はICT抜きでは成り立たない状況となっています。こうした状況に鑑み、本学では、以下のことを教育の目的として掲げています——①明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしいICT技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度ICT技術者を育成します。②国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間性に優れた人材を育成します。

このような人材育成を目指す本学では、卒業後の進路として、情報処理産業を中心にコンピュータを使用するさまざまな業種・職種などとともに、本学で得た高い知識・技術をもって次世代の人材育成を行なう教育機関も視野に入れています。高度情報通信社会の発展にとって、<“情報化に対応・貢献し得る人材の育成”にあたる人材の育成>が極めて重要だと考えるからです。

以上のように、~~一般的な情報処理技術の知識・技術を身につけるにとどまらず、各種専門分野にまたがる高い知識・技術を習得した教員を養成し、もって次世代の人材育成に貢献していくことを目標とします。~~

資料1-1-2:改訂を行った本学教職課程の目標【通学部・通信教育部】

第9回 教職課程委員会 資料抜粋

3 本学教職課程の目標について

北海道情報大学 教職課程における教員養成の目標の改訂について (案)

1. 提案内容

現行 (通学部・通信教育部ともホームページにて公開)

一般的な情報技術処理の知識・技術を身に付けるにとどまらず、各種専門分野にまたがる高い知識・技能を修得した教員を養成し、次世代人材育成に貢献していくこと。

改訂案

本学は、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」の建学の理念および大学・学部・学科が掲げる卒業認定・学位授与方針等に基づき、教育者としての高度な専門性と幅広い教養、豊かな人間性を有するとともに、変化が激しく予測困難な時代へ対応できる力や高度情報化社会における新たな価値を創造できる力を生徒に育成することができ、学校や社会をより良くするために自分がどのような力を育成していくべきかを生涯をわたって主体的に探究し、不断に成長できる教育者を養成します。具体的には、以下のコンピテンシー（知識・スキル・心構え）を身につけた教育者を養成することを目標とします。

○教育者としての素養

教育に対する熱意を有するとともに、教育職員としての自覚に基づき、使命感・倫理観を持って行動することができる。

教育者としての教育観を育み、教職における自己成長に向けた探究心と高い志を持ち続けることができる。

○学習指導力

教科指導に必要な専門知識と高度な技能・技術および生徒の関心を引き出し主体的で協働的な深い学びを実現する指導法を身につけており、実践することができる。

学習指導の基盤となる、学ぶ意義を理解するとともに、生徒の発達・心理に関する知識を有しており、実践することができる。

○生徒指導力

特別活動、特別支援教育、キャリア教育・進路指導等の場面において生徒指導を行うための基盤となる知識を有し、実践することができる。

生徒やその背景の多様性について理解し、個性や個の成長に応じて、円滑なコミュニケーションを図りながら個別最適な指導を考えて実践し、生徒の主体的な学びを支える伴走者としての能力を備えるとともに、生徒集団に対する適切な指導やマネジメントを行うことができる。

○課題解決力と自己表現力

課題解決に向け、学士課程および教職課程における学修を通じて身につけた知識・技術を用いるとともに、国際的な視野や社会の多様性の理解などの優れた感覚を持って、自分の考えや提案内容をわかりやすく説明し、自己表現することができる。

他の教職員、保護者、地域、学外機関等と連携し、コミュニケーションを図りながらチームとして解決を求められる様々な課題にも積極的に協働し取り組むことができる。

○ICT活用能力

教育活動や校務に必要な ICT (情報通信技術) を活用するための基本的な能力を身につけている。

資料1-1-3:教職課程委員会議題(9月)【通学部・通信教育部】

2023年度 第3回教職課程委員会議事録	
□開催日時	2023年9月15日(金) 10:00~10:45
□審議参加者	教職課程委員7名(構成員7名→成立4名) 五浦哲也委員長、椿達委員、渡邊仁委員、内山俊郎委員、笹山智司委員 矢笠博隆教務課長、岩本和生通信教育部事務部課長 陪席 通学教務課1名; 上田さゆみ係長 通信教育部1名; 笠羽弘城通信教育部事務部長
□欠席者	なし
□配付資料(1)	【通学・通教】中期目標・中期計画・2023年度計画中間評価(9月末時点)について (2) 【通学】通信教育課程の授業科目の履修について (3) 【通学】通信教育課程において修得した授業科目の単位認定について (4) 【通学】2024年度通信教育課程の授業科目の追加について (5) 【通学】2024年度カリキュラム改正について (6) 【通学・通教】教職課程の目標の改定について (7) 【通学・通教】自己点検・評価報告書の進捗状況について 追加資料 【通学・通教】教育職員免許法施行規則の改正について
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【通学・通教】中期目標・中期計画・2023年度計画中間評価(9月末時点)について このことについて委員長から発議され、別紙資料(1)により説明がなされた後、審議の結果、これが承認され、次回の点検評価委員会に諮ることとなった。 2. 【通学】通信教育課程の授業科目の履修について このことについて委員長から発議され、別紙資料(2)により説明がなされた後、審議の結果、これが承認された。 3. 【通学】通信教育課程において修得した授業科目の単位認定について このことについて委員長から発議され、別紙資料(3)により説明がなされた後、審議の結果、これが承認された。 4. 【通学】2024年度通信教育課程の授業科目の追加について このことについて委員長から発議され、別紙資料(4)により、説明がなされた後、審議の結果、これが承認された。 5. 【通学】2024年度カリキュラム改正について このことについて委員長から発議され、別紙資料(5)により、説明がなされた後、審議の結果、これが承認された。 6. 【通学・通教】教職課程の目標の改定について このことについて委員長から発議され、別紙資料(6)により、説明がなされた後、

審議の結果、以下の修正を加えることとし、これが承認された。

<修正点>

改定案8行目

以下のコンピテンシー（知識・スキル・心構え）を身につけた教育者を養成することを目標とします。

↓

本学ディプロマ・ポリシーのコンピテンシー（知識・スキル・心構え）に基づいて、以下の素養を身につけることを目標とします。

報 告

1. 【通学・通教】自己点検・評価報告書の進捗状況について
このことについて、委員長から教職課程自己点検・評価報告書の進捗状況等について、別紙資料（7）のとおり報告があった。
2. 【通学・通教】教育職員免許法施行規則の一部改正について
このことについて、教務課上田係長から別紙資料に基づき、教育職員免許法施行規則が一部改正される予定である旨の報告があった。

以 上

資料1-1-4:教職課程委員会報告(4月)【通学部・通信教育部】

2023年度 第1回教職課程委員会議事録	
□開催日時	2023年5月10日(水)16:15~16:40
□審議参加者	教職課程委員7名(構成員7名→成立4名)
□欠席者	なし
□配付資料	(1) 通信教育課程の授業科目の履修に係る履修願 (2) 通信教育部 教育実習受講資格判定一覧(新法判定基準適用者) (3) 通信教育の学校における教育実習について(案) (4) 北海道情報大学教職課程委員会規程 (5) 教職課程委員会2023年度年間計画(案) (6) 北海道情報大学における教職課程の目標と受け入れ方針 (7) 教職課程自己点検評価に関する組織図訂正
議 題	
1. 【通学】通信教育課程の授業科目の履修について	このことについて委員長から発議され、日尾駿介 他1名の通信教育課程科目の履修について、別紙資料NO.1により説明がなされた後、審議の結果、これが承認された。
2. 【通教】通信教育部 教育実習受講資格判定について	このことについて委員長から発議され、通信教育部生の2023年度前期教育実習受講資格判定について、別紙資料NO.2により説明がなされた後、審議の結果、これが承認された。
3. 【通学・通教】通信教育の学校における教育実習について	このことについて委員長から発議され、通信制学校における教育実習の受講について、別紙資料NO.3により説明がなされた後、以下の確認が行われ、審議の結果、これが承認された。 ・2週間の場合は10日間、3週間の場合は15日間の実習日数が必要であることを明確に記す。 ・実習日数は、原則連続することを明確に記す。
報 告	
1. 【通学・通教】北海道情報大学教職課程委員会規程について	このことについて委員長から、教職課程委員会規程の変更点について、別紙資料NO.4のとおり報告があった。
2. 【通学・通教】教職課程委員会2023年度年間計画について	このことについて委員長から、2023年度の年間計画について、別紙資料NO.5のとおり報

報告があった。←

3. 【通学・通教】北海道情報大学における教職課程の目標と受け入れ方針について←
このことについて委員長から、教職課程の目標と受け入れ方針について、別紙資料NO.6のとおり報告があった。←

4. 【通学・通教】教職課程自己点検評価に関する組織図訂正について←
このことについて委員長から、教職課程自己点検評価に関する組織図訂正について、別紙資料NO.7のとおり報告があった。←

5. 【通学・通教】アセスメントポリシーについて←
このことについて教務課長から、アセスメントポリシーに基づく学修成果の評価・検証について、2024年度の4月に実施すること、及び学修成果の検証により今後の改善に繋げていく旨の報告があった。←

以 上←

資料1-1-5:教職課程課程説明会、教職ガイダンス資料【通学部】

新入生対象

教職課程説明会 1

2023年4月8日（土）
17:55～ 213教室

Johodai
北海道情報大学 教職課程担当

新入生対象

教職課程説明会 2

2023年4月20日（木）
17:55～ 213教室

Johodai
北海道情報大学 教職課程担当

2・3年生対象

教職ガイダンス

2023年5月9日（火）
17:55～ 213教室

Johodai
北海道情報大学 教職課程担当

新入生対象

教職課程説明会 2

日時：2023年4月20日（木）
17:55～
教室：213教室

【説明会の内容】

- 1.教職の魅力と教員に求められる資質能力
- 2.教職課程を履修するにあたって
※本学教職課程の目標と受け入れ方針等
- 3.教員の採用について
- 4.教育実習で求められる資質能力
- 5.教職課程の構成
- 6.教職課程の履修に関する注意事項
- 7.教育実習を行うために-履修で注意すべきこと-
- 8.履修科目について
- 9.その他
 - ピアヘルパーについて
 - 進学校心理士資格申請について
 - 学生ボランティア
- 10.教職課程受講申し込みについて…教務課

2・3年生対象

教職ガイダンス

日時：2023年5月9日（火）
17:55～
教室：213教室

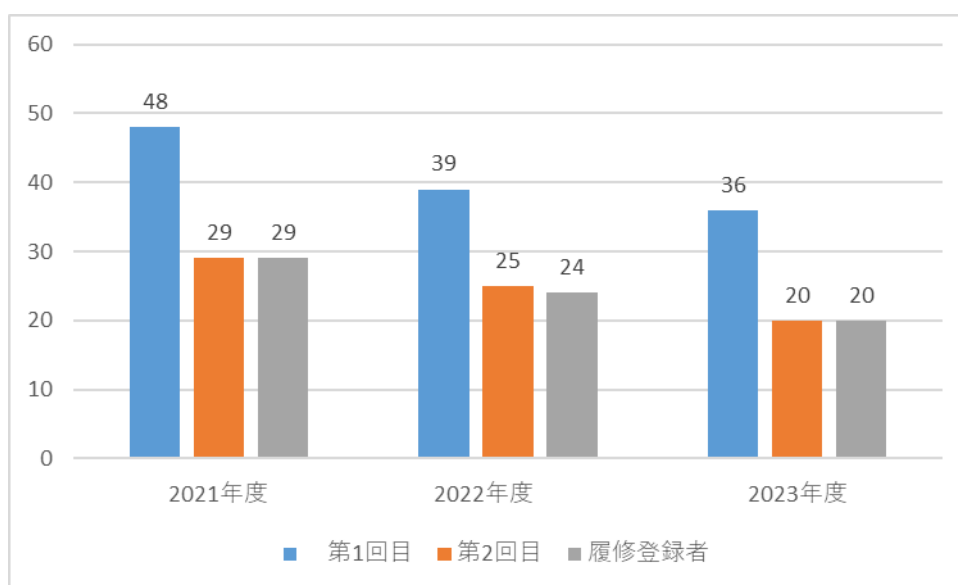
【説明会の内容】

- 1.教職の魅力と教員に求められる資質能力
- 2.教職課程を履修するにあたって
※本学教職課程の目標と受け入れ方針等
- 3.教員の採用について
- 4.教育実習で求められる資質能力
- 5.教職課程の構成
- 6.教職課程の履修に関する注意事項
- 7.教育実習を行うために-履修で注意すべきこと-
- 8.履修科目について
- 9.その他
 - ピアヘルパーについて
 - 進学校心理士資格申請について
 - 学生ボランティア
- 10.教職課程受講申し込みについて…教務課

データ1 :過去3年間の1年生教職課程説明会出席者と最終履修者数【通学部】

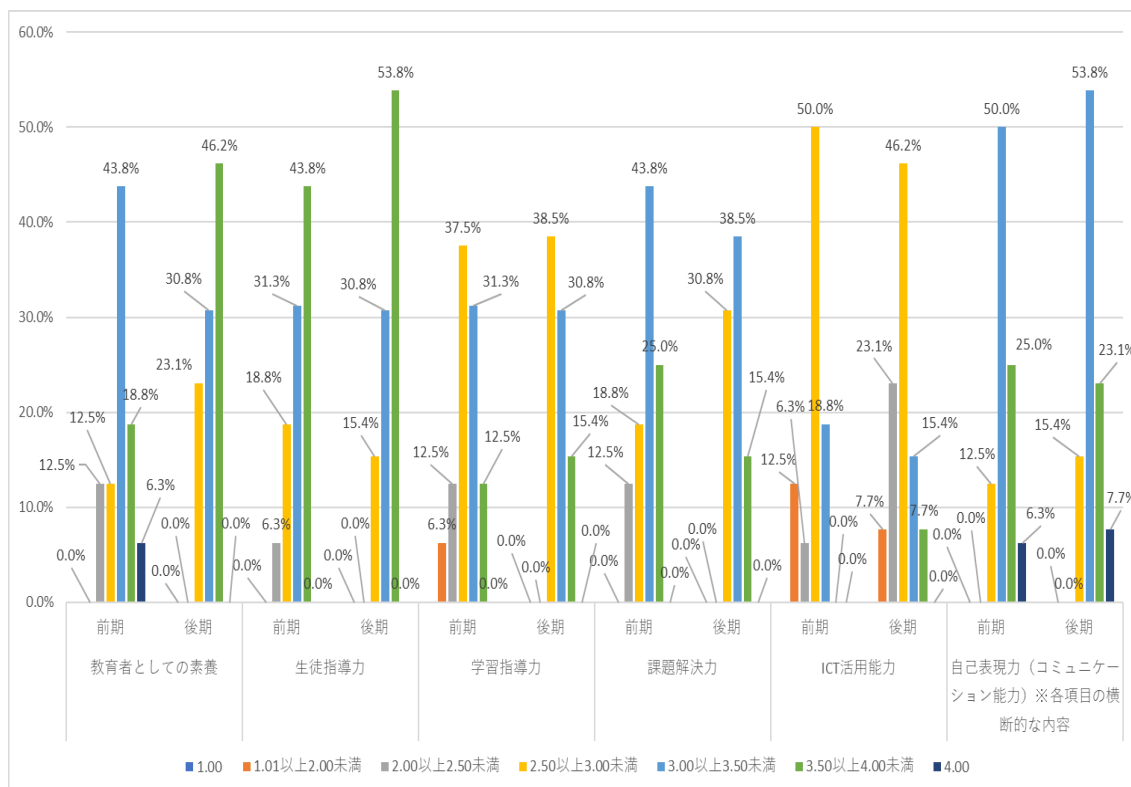
【通学部】2022年度1年生教職課程説明会出席者と最終履修者数

	第1回目	第2回目	履修登録者
2021年度	48名	29名	29名※60.4%
2022年度	39名	25名	24名※64.1%
2023年度	36名	20名	20名※55.6%

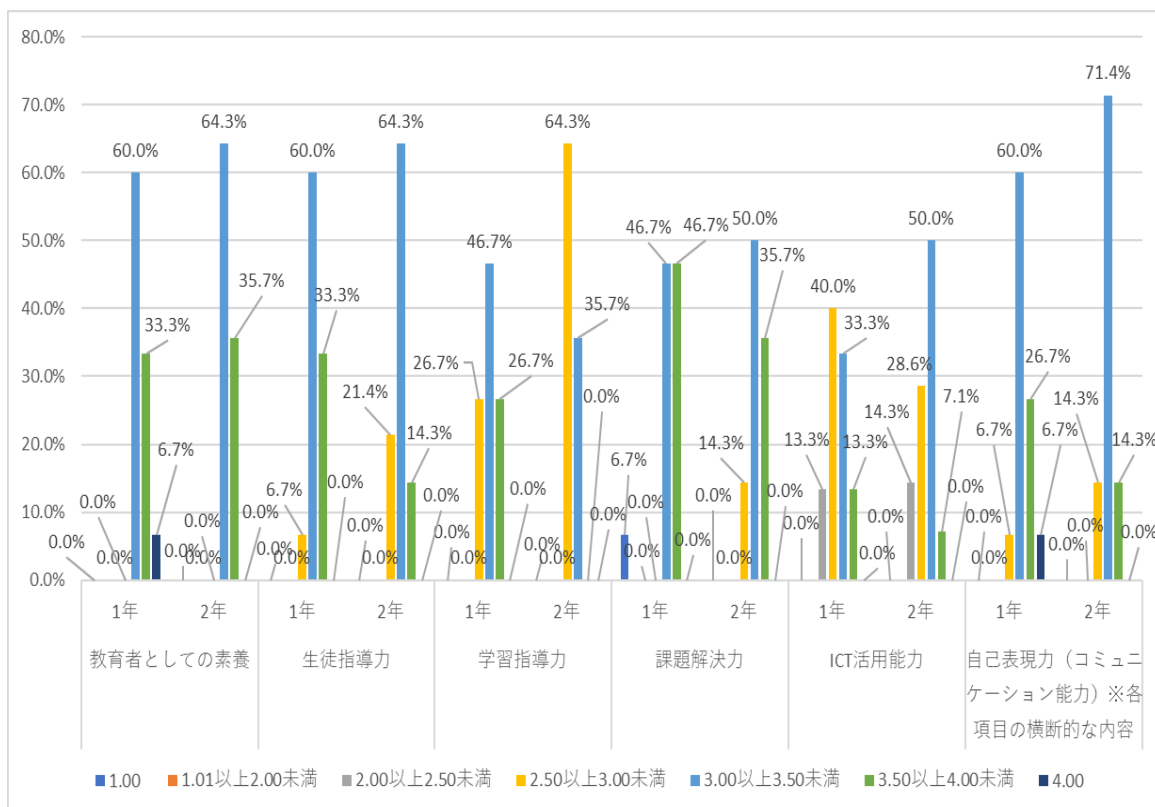


データ2 :2022年度、2023年度自己評価シートによる目標確認状況【通学部】

1年生前期と後期の自己評価結果



2年生の1年次と2年次の自己評価結果



基準項目1-2 教職課程に関する組織的工夫

資料1-2-1:教職課程委員会議題

2023年度 第1回 教職課程委員会

2023年5月10日(水)

【議題】

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 通信教育課程の授業科目の履修について | 資料No. 1 |
| 2. 通信教育部 教育実習受講資格判定について | 資料No. 2 |
| 3. 通信教育の学校における教育実習について | 資料No. 3 |

【報告】

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1. 北海道情報大学教職課程委員会規程 | 資料No. 4 |
| 2. 教職課程委員会2023年度年間計画(案) | 資料No. 5 |
| 3. 北海道情報大学における教職課程の目標と受け入れ方針 | 資料No. 6 |
| 4. 教職課程自己点検評価に関する組織図訂正 | 資料No. 7 |
| 5. アセスメントポリシーについて | 資料無し |

委員会の開催について（持ち回り）		起案	2023年 9月 1日
		決裁	年 月 日
委員会名	2023年度 第2回 教職課程委員会		
議 題	通信教育部 2023年度前期末教育実習受講資格判定について		
承 認			
添付書類 ・通信教育部 2023年度前期末教育実習受講資格判定一覧		担当部課長	担 当
<p>このことについて、次の議題についてご審議願います。</p> <p>(1) 通信教育部 2023年度前期末教育実習受講資格判定について 2023年度前期末の教育実習受講資格判定について、別紙資料のとおりご承認願います。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>			

2023年度 第3回 教職課程委員会

2023年9月15日(金)

【議題】

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1. 中期目標・中期計画中間報告について | 資料No. 1 |
| 2. 通信教育課程の授業科目の履修について | 資料No. 2 |
| 3. 通信教育課程の授業科目の認定について | 資料No. 3 |
| 4. 2024年度通信教育課程の授業科目の追加について | 資料No. 4 |
| 5. 2024年度 カリキュラム改正について | 資料No. 5 |
| 6. 教職課程の目標の改定について | 資料No. 6 |

【報告】

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. 職課程自己点検・評価報告書の進捗状況について | 資料No. 7 |
|---------------------------|---------|

<p>委員会の開催について（持ち回り）</p>		起案 2023年10月 5日
		決裁 年 月 日
委員会名	2023年度 第4回 教職課程委員会	
議題	<p>1 教育職員免許法施行規則の改正に伴う高一種免（情報）「教科に関する専門的事項」の科目区分の変更について</p> <p>2 教育職員免許法施行規則の改正に伴う旧免許法修得単位の読み替えについて</p>	
承認		
添付書類	担当部課長	担当
<p>1. 高一種免（情報）教科及び教科の指導法に関する科目新旧対照表</p> <p>2. 教育職員免許法施行規則の改正に伴う旧免許法修得単位の読み替えについて</p>		
<p>このことについて、その審議が急がれるものである為、持ち回りで本委員会を行うものであります。ついては、以下の議題についてご承認願います。</p> <p>1. 教育職員免許法施行規則の改正に伴う高一種免（情報）「教科に関する専門的事項」の科目区分の変更について</p> <p>教育職員免許法施行規則の改正に伴い、資料1のとおりに高一種免（情報）「教科に関する専門的事項」の科目区分を変更し、対応する授業科目を設定することを承認する。</p> <p>2. 教育職員免許法施行規則の改正に伴う旧免許法修得単位の読み替えについて</p> <p>教育職員免許法施行規則の改正に伴い、資料のとおり旧免許法の課程で修得した単位を改正後の課程の単位として読み替えたい旨の提案があり、これを承認する。</p>		

2023年度 第5回 教職課程委員会

2023年11月15日(水)

【議題】

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 中期目標・中期計画2024年度計画について | 資料No. 1 |
| 2. 2024年度授業科目について | 資料No. 2 |

【報告】

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 在学生学修成果等アンケートについて | 資料No. 3 |
|----------------------|---------|

資料1-2-2:教職ミーティング議題

2023 第1回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 4月 13日 (木) 10時 40分～

開催場所 通信教育棟 会議室

出席者

議題

- 1 2023年度 新入生対象第2回教職説明会、教職ガイダンス
- 2 教職課程自己点検評価について（教職課程委員会提案）
- 3 通信教育部教職課程科目履修者の承認について

報告・連絡

- 1 教職課程担当者役割分担（確認）
- 2 2023年度 新入生対象教職説明会参加者
- 3 江別市学生ボランティア派遣事業
- 4 第42回研究大会・令和5年度定時社員総会
- 5 北海道・札幌市教員採用試験関係
- 6 情報交流（教育実習I模擬授業指導など）

その他

次回の予告 5月18日（木）10：40～ 教育実習報告会 など

2023 第2回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 5月 18日 (木) 10時 00分～

開催場所 通信教育棟 会議室

出席者

議題

- 1 教育実習報告会について
- 2 通信教育部教職課程科目履修者の承認について

報告・連絡

- 1 教職課程説明会、教職ガイダンス出席状況
- 2 江別市学生ボランティア派遣事業参加者について
- 3 第42回研究大会・令和5年度定時社員総会(5月20日(土))
- 4 北海道・札幌市教員採用試験希望状況
- 5 教職課程受け入れ方針の誤字訂正について
- 6 通信教育部 通信制高校での実習校要件について
- 7 教育実習訪問指導関係の交流
- 8 情報交流(教育実習I模擬授業指導など)
- 9 教職課程自己点検評価取組の進捗状況交流
- 10 教育実習校依頼に関する学生の件について

その他

次回の予告 6月15日(木)10:40～ 教育実習校訪問指導 など

2023 第3回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 6月 12日 (月) 10時 40分～

開催場所 通信教育棟 会議室

出席者

議題

なし

報告・連絡

- 1 全私教協参加報告
(5月20日(土) 10:00—16:00 会場 TKP ガーデンシティ仙台)
- 2 教育実習 I (教育実習報告会)
- 3 通信教育委員会報告
- 4 介護等体験実習 (特別支援学校 2日間)
- 5 北海道私立大学・短期大学教職課程研究連絡協議会 定期総会・研究大会
- 6 通信教育部学生の教育実習について
- 7 准学校心理士申請申込について
- 8 北海道・札幌市教員採用試験希望状況
- 9 教育実習訪問指導情報交流
- 10 情報交流 (教育実習 I 模擬授業指導など)
- 11 教職課程自己点検評価取組の進捗状況交流

その他

次回の予告 7月13日(木) 10:40～ 教育実習校訪問指導 など

2023 第4回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 7月 20日 (木) 10時 40分～

開催場所 通信教育棟 会議室

出席者

議題

- 1 通信教育科目の教職科目認定について
- 2 カリキュラムアドバイザーボード会議について
- 3 本学教職課程の目標について
- 4 教育実習報告会について
- 5 教育実習訪問指導に関する検討事項

報告・連絡

- 1 教職実践演習（模擬授業と検討会）計画について
- 2 通信教育部の教育実習について
- 3 今後の教育実習指導訪問と教育実習訪問指導の情報交流
- 4 教職課程FDの計画
- 5 教員採用試験受験状況に関する情報交流
- 6 今後の介護等体験について（通学・通信）
- 7 通信教育委員会報告
- 8 准学校心理士申請申込状況、草の根教育実習申込状況について
- 9 教職課程自己点検評価取組の進捗状況と今後の計画の確認、学生自己評価の取組（前期末）

その他

次回の予告 9月8日（金）13：00～ 後期計画の確認 など

2023 第5回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 9月 8日 (金) 13時 00分～
開催場所 通信教育棟 会議室
出席者

議題

- 1 第3期中期目標・中期計画・2023年度計画について
- 2 通学部教職課程履修費について
- 3 教職課程自己点検・評価報告書について
- 4 通信教育部後期教育実習受講者判定について

報告・連絡

- 1 教職課程後期の予定と役割の確認
- 2 通学部教職課程に関する科目変更について
- 3 介護等体験進捗について(通学・通信)
- 4 通信教育委員会報告
- 5 准学校心理士資格申請状況、草の根教育実習申込状況について
- 6 カリキュラム・アドバイザーボード会議の結果
- 7 教職課程FDの計画・進捗状況
- 8 教員採用試験受験結果に関する情報交流
- 9 教育実習指導訪問(含:通信教育部学生)、夏期スクーリングを含めた情報交換

その他

次回の予告 10月12日(木)16:15～

2023 第6回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 10月 23日 (月) 12時 55分～

開催場所 通信教育棟 会議室

出席者

議 題

- 1 2023年度3・4年生単位取得状況(2024年度教育実習の実施要件)について
- 2 2023年度介護等体験説明会(11/22)現3年生対象
- 3 教職実践演習外部講師講演について
- 4 2024年度通教スクーリングの本学会場について
- 5 教職専任教員の役割分担の見直し

報告・連絡

- 1 2022年度、2023年度通教スクーリングの日程について
- 2 教職課程後期今後の予定と役割の確認
- 3 2022年度全国私立大学教職課程協会研究交流集会
- 4 介護等体験の実施状況(通信教育部含む)など
- 5 通信教育委員会報告
- 6 ピアヘルパー受験申込状況について(申込締切10/27)
- 7 准学校心理士合格者
- 8 教育実習指導訪問、教員採用試験についての情報交流

その他

- 1 次回の予告 11月13日(月)12:55～ 教育実習I(教育実習報告会含む)評価 など

2023 第7回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 11月 13日 (月) 15時 00分～

開催場所 通信教育棟 会議室

出席者

議題

- 1 第3期中期目標・中期計画・2023年度計画中間評価・2024年度計画について
- 2 2024年度教育実習予定者（教育実習Ⅰ（案）、教職実践演習（案））
- 3 教育実習Ⅰの評価について
- 4 教育実習学校訪問説明会
- 5 教育実習事前指導（新4年対象）

報告・連絡

- 1 教職実践演習（通信教育部）の確認
- 2 通信教育委員会報告
- 3 介護等体験の実施状況（通信教育部含む）など
- 4 教職実践演習の外部講師講演
- 5 ピアヘルパー申込状況（締切 10/27）
- 6 教員採用試験についての情報交流
- 7 今後の予定と役割の確認

その他

- 1 次回の予告 12月13日（水）10:40～
2022年度全国私立大学教職課程協会研究交流集会報告 など

2023 第8回 教職課程ミーティング

開催日時 2024年 1月 10日 (水) 12時 55分～

開催場所 通信教育棟 会議室

出席者

議題

- 1 教育実習高校訪問説明会について (1月16日(火)6講時)
- 2 教育実習I、教育実習訪問指導、教職実践演習の担当学生について
- 3 教職課程自己点検評価報告書について
- 4 教育実習事前指導について (2月15日(木)10:00～)
- 5 通信教育部 動画更新について

報告・連絡

- 1 教職実践演習(講演)について
- 2 2023年度全国私立大学教職課程協会研究交流集会報告
- 3 教職実践演習(通信教育部)の交流及び課題
- 4 介護等体験説明会参加者の状況
- 5 ピアヘルパー受験状況(12/2実施)
- 6 通信教育部「教育原理」担当者変更
- 7 今後の予定と役割の確認
- 8 教員採用試験についての情報交流

その他

- 1 次回の予告 2月11日(水)13:00～ 教育実習事前指導 など

2023 第9回 教職課程ミーティング

開催日時 2024年 2月 7日 (水) 13時 00分～

開催場所 通信教育棟 会議室

出席者

議題

- 1 教職課程イベント・教育実習訪問指導等
- 2 次年度教職課程役割分担について
- 3 教育実習事前指導について(2月15日(木)2講時～)
- 4 札幌市教育委員会主催学生ボランティア事業
- 5 第3期中期目標・中期計画・2022年度計画年度末評価について

報告・連絡

- 1 介護等体験について
- 2 通信教育委員会報告
- 3 教育実習校訪問説明会参加者について
- 4 通信教育部 教育実習Ⅰ「教育実習報告会」動画更新について
- 5 2023年度ピアヘルパー結果
- 6 教職課程自己点検評価について
- 7 教員採用試験情報交流(2023年12月実施)

その他

次回の予告 3月12日(水)11:00～ 教職課程説明会、教職ガイダンス

資料1-2-3:ICT 教育環境① <入試広報室広報課資料提供>【通学部】



←教室環境



実習室→



←実習室

図書館内 G スタジオ→
<ゲーム開発・音楽編集>



←宇宙情報センター

ICT およびアクティブ・ラーニングの教室環境 <教務課資料提供> 【通学部】



※本学 HP より抜粋（情報機器環境）【通学部】 <情報センター資料提供>

<https://www.do-johodai.ac.jp/examinee/campuslife/environment/>

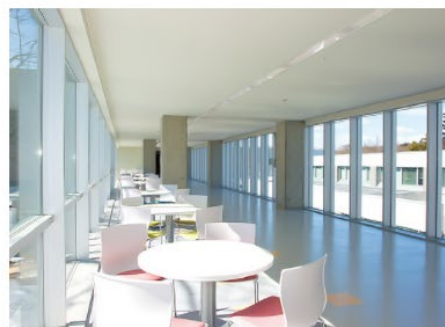
実習室: 実習室1~3、画像メディア実習室、LLメディア実習室など情報大には学生向けに800台を越えるハイスペックマシンと高セキュリティコンピュータ端末が揃っています。充実したソフトウェアや周辺機器で様々な実践スキルが身につきます。

Wi-Fiがキャンパスの

全域をカバー

教室や図書館はもちろん、プロジェクトルーム、学生プラザ、スカイウェイ、学生食堂など、キャンパス全域でWi-Fiが利用できるようになっています。加えて、学内にある800台超のコンピュータ端末は放課後など、空いていれば自由に利用可能です。

高速LANで結ばれているので、いつでもどこからでもストレスなく通信可能です。



学生全員に

ノートPCを無償貸与

本学では入学時にノートPCを全員に無償で貸与します。学内はもちろん、家に持ち帰って課題制作や予習に利用するのもOK。場合によってはオンライン授業にも活用します。4年間無償で使えるので新たにPCを購入する必要はありません。

HP 245 G9 (AMD) 機能性が高いノートPC ※2023年度配布機種

Adobe「ETLA for Education」導入

PhotoshopやIllustratorを使い放題

画像（いわゆるPDF）作成・編集・加工ソフトウェアで知られるIT企業「Adobe」と契約し、その主なソフトウェアの最新版を大学内の実習用端末で使用することができます。デザイン、写真、Web、映像など、デジタルコンテンツの制作や編集に必要なツールがそろっていて、新しい分野のスキルを数多く身につけられ、制作や就職の可能性を広げられます。

Microsoft OVS-ES

「教育機関向け総合契約 OVS-ES」を契約し、最新のOffice等を学校や自宅のPCで使用することができます。貸与しているノートPCと組み合わせることで学内外を問わずに、課題やレポートの作成といった学修に取り組むことができます。

E-LEARNING

DX推進センター

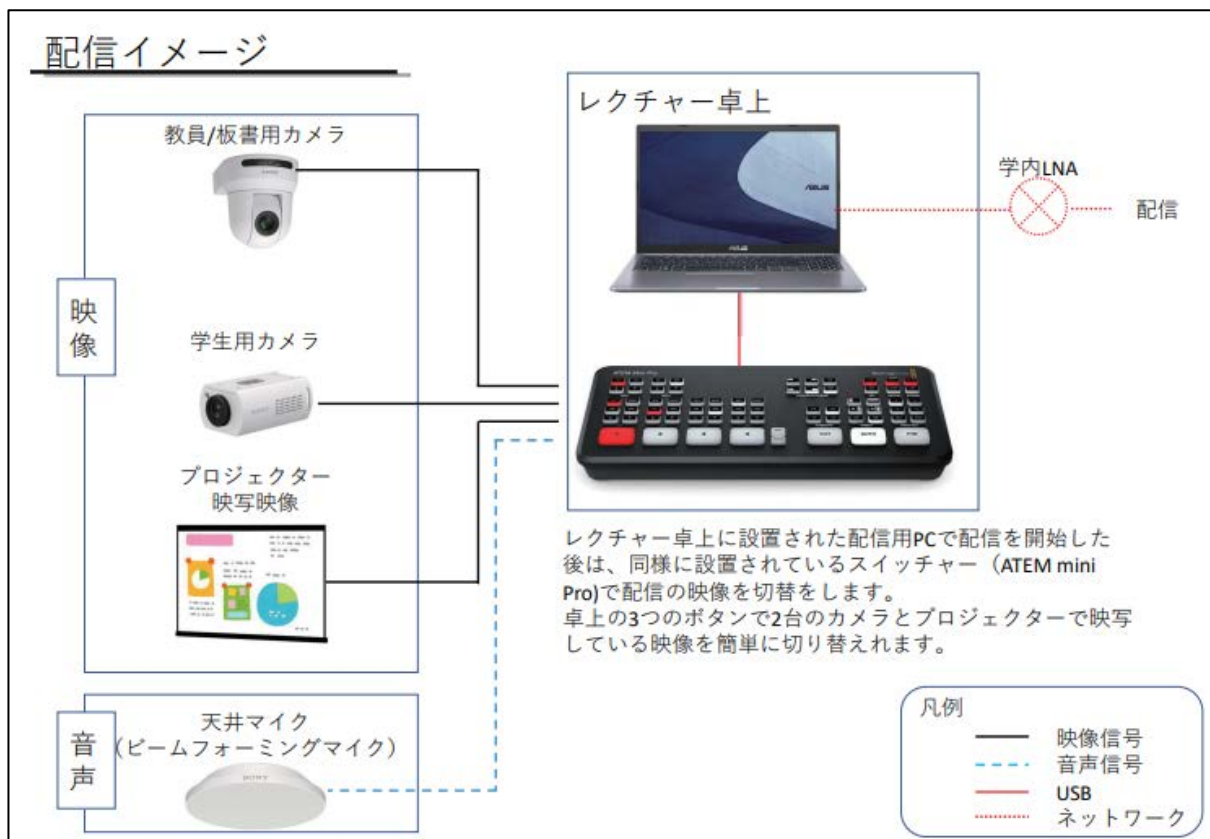
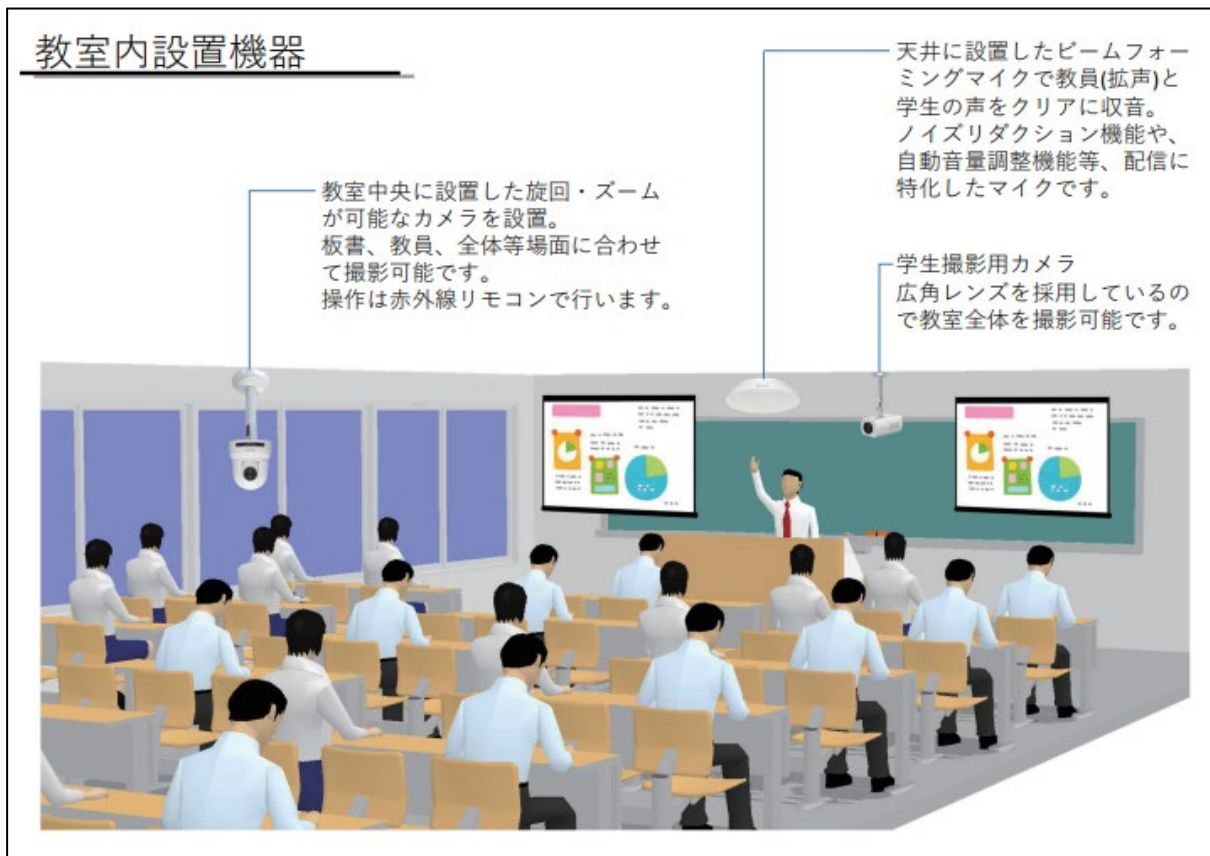
DX推進センターでは、学生が自ら理解度を確認しながら学習を進められる、本学オリジナルの学習者適応型eラーニングシステム「POLITE（ポライト）」や、授業の内容・方法を改善するための教員支援システム「CANVAS（キャンパス）」などを開発。

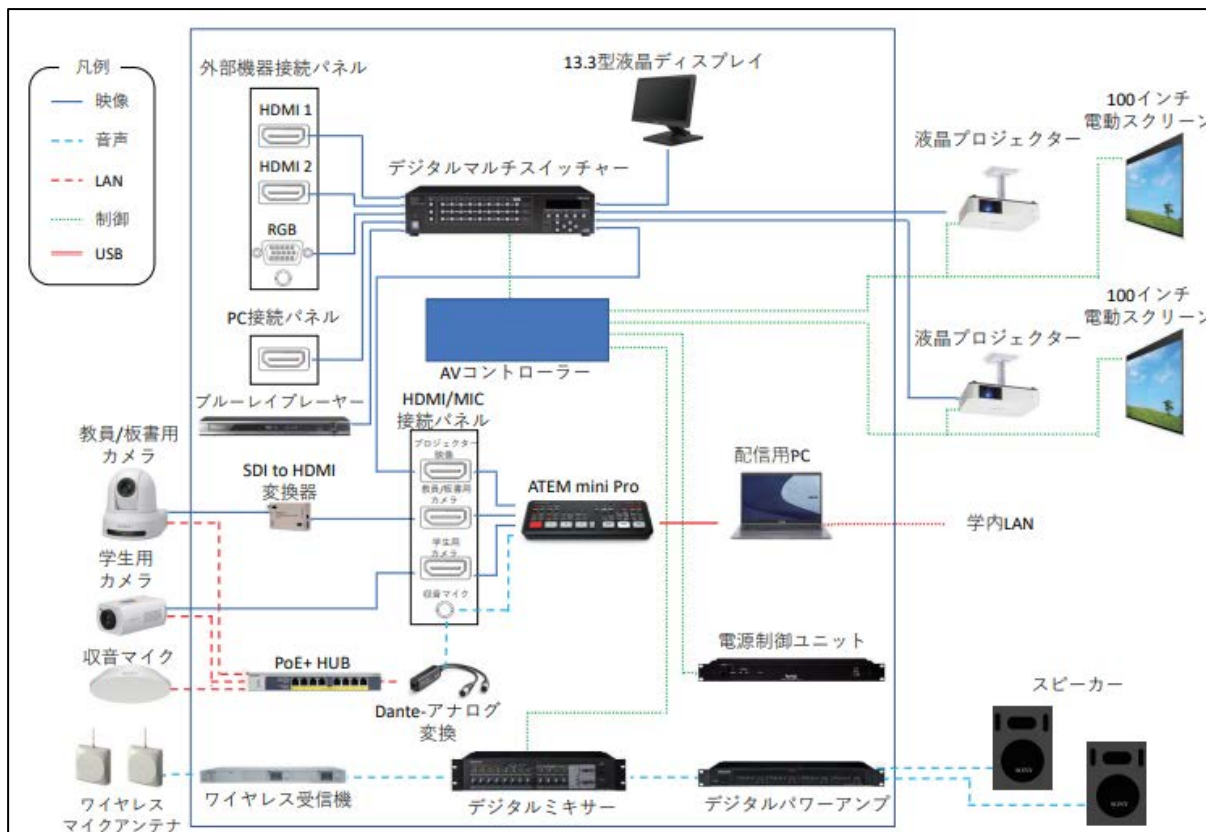
POLITE（ポライト）

本学オリジナルの学習者適応型eラーニングシステム(POLITE)。自分自身で理解度を確認しながら学習を進めていきます。



資料1-2-4:ICT 環境②(115 教室) < 本学教務課資料提供 > 【通学部】





資料1-2-6:プラットフォーム「無限大キャンパス」【通信教育部】



■ 教職課程（教員免許）

通信教育部においても教職課程の履修により
**「高等学校教諭1種免許状(情報)(商業)(数学)」及び、
 「中学校教諭1種免許状(数学)」**を取得可能

▶ 教員免許状の修得単位について

▶ 履修科目一覧

▶ 教育実習について

▶ 募集要項はこちら

▶ 入学説明会はこちら

教職課程とは、教育職員の免許状を取得するために必要な履修課程のことです。公立・私立を問わず、教員を目指す人は、教職課程の必要単位を履修したのち、教員免許状の交付申請を経て、各都道府県教育委員会より教員免許状が授与されます。



正科生A

本学通信教育部正科生Aによる入学では、卒業時に「学士（経営情報学）」と「高等学校教諭1種免許状（情報）（商業）（数学）」及び、「中学校教諭1種免許状（数学）」を同時に取得することが可能です。



「学士」と「教員免許状」
の同時取得について

Click! (YouTubeサイトへ移動します)

※大学卒業と同時に教員免許状を「免許法第5条別表第1」で取得する場合について紹介したスライドです。

※音声は入っていません。スライド（動画）のみで説明を行っています。

科目等履修生

すでに高等学校教諭1種免許状または高等学校教諭専修免許状を所持している方は、科目等履修生による入学で、24単位（※）で「高等学校教諭1種免許状（情報）（商業）（数学）」を取得することができます。

平成27年度からは、すでに中学校教諭1種免許状または中学校教諭専修免許状を所持している方は、科目等履修生による入学で、所定の28単位（※）を修得することで中学校教諭1種免許状（数学）を取得することができます。

また、大学を卒業しており、初めて教員免許状の所得を目指す方も「科目等履修生」として現在の状況に合わせて最短距離で「情報、商業、数学」の各免許状を取得できる環境が整っています。

なお、本学では、正科生Aだけでなく、科目等履修生においても「教育実習」が受講可能です。

資料1-2-7:通信教育部における POLITE【通信教育部】



資料1-2-8:教育実習報告会の動画更新【通信教育部】

タイトル「7. 教育実習報告会」

本学通学課程の学部生による教育実習終了後の報告です。（模擬授業を実施した2名の学生による報告）



←高校での教育実習についての報告会



中学校での教育実習についての報告会→



資料1-2-9:FD 研修会における教職課程の授業実践【通学部】

2023年FD研修会02

今回の内容

小さい話題を3つ

1. POLITE4の紹介
2. 電子黒板の活用事例について
- 教職課程科目の授業実践の紹介 -
3. MS Office系ソフトウェアのリスクリソグ1
- 最新PowerPointで授業を記録してビデオにしよう -

2023 FD研修会02 2023年9月20日（水）

電子黒板の活用事例について

- 教職課程科目の授業実践の紹介 -



ゼミ室4やゼミ室5
などにあります。

教職課程科目「数学科教育法Ⅲ」

- 教職課程科目の授業実践の紹介 -

中学校数学の教員免許状取得に必要な科目（3年生対象）
学生の模擬授業（計画→実施→検討会→評価）を柱にした授業

= 動画は2023年6月4日の模擬授業のある場面 =

対象 中学校3年生
単元 第5章 相似 第1節 相似な図形
学生の立てた指導目標（指導観）
相似を苦手と感じてしまう生徒が多いので図形だけではなく普段身の回りにあるものを使って親しみやすさを感じてもらい授業をする。
今回の授業では教科書は使わずにこちらでパワーポイントを使ったり電子黒板を利用して、下ばかりみる授業ではなく顔を上げて前を見る授業を目指していく

データ1:本学の ICT 環境

実習室機器台数

	パソコン	中間モニタ	プリンタ	備考
実習室 1	84	42	2	・シンクライアントシステムを導入 ・プリンタは、カラー1台、モノクロ1台
実習室 2	96	48	2	・シンクライアントシステムを導入 ・PinPを導入しているため中間モニタなし ・プリンタは、カラー1台、モノクロ1台
実習室 3	72	36	2	・シンクライアントシステムを導入 ・プリンタは、カラー1台、モノクロ1台
画像メディア実習室	64	32	3	・シンクライアントシステムを導入
LLメディア実習室	96	48	3	・ディスク復元システムを導入
105教室	70	なし	1	・ディスク復元システムを導入
卒業研究室	8	なし	1	

※パソコン、中間モニタの台数は学生用に設置している台数です。教員用は含みません。

基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援

基準項目 2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

資料 2-1-1: 教職課程説明会、教職ガイダンスにおける受け入れ方針の提示



本日の内容

1. 教職の魅力と教員に求められる資質能力…樫 1
2. 教職課程を履修するにあたって…五浦 2
- ※本学教職課程の目標と受け入れ方針等
3. 教員の採用について…別所 3
4. 教育実習で求められる資質能力…別所 4
5. 教職課程の構成…渡邊 5
6. 教職課程の履修に関する注意事項…渡邊 II
7. 教育実習を行うためにー履修で注意すべきことー…渡邊 資料
8. 履修科目について…渡邊
9. その他
 - ピアヘルパーについて…五浦
 - 准学校心理士資格申請について…五浦
 - 学生ボランティア…五浦
10. 教職課程受講申し込みについて…教務課 八重原

※ 特に個別の相談などありましたら、退出せずに残っててください。

2. 教職課程の目標と受け入れ方針

(2) 北海道情報大学教職課程受け入れ方針
教職課程履修者受け入れ方針

- ①北海道情報大学及び経営情報学部における卒業認定・学位授与の方針への理解に基づき、高度ITプロフェッショナルとなる自覚を持ち、日々の大学での講義で専門知識と高度な技術を身に付けるよう意欲的に学ぶ意思と地道な努力ができる学生
- ②教職に関する興味・関心があり、本学における教職課程の履修計画、教育実習の履修条件、教員採用試験など教員免許状を取得するまでのプロセスを理解し、強い意思を持ち学び続けることができる学生
- ③4年次の教育実習に向け、情報処理技術に関する専門的な知識・技能に加え、教員に求められる教科指導や生徒理解など教育に関する知識、幅広い教養、社会規範やマナー、コミュニケーション能力を身に付けていくことができる学生

資料2-1-2:オープンキャンパスにおける取組

北海道情報大学 オープンキャンパス

OPEN CAMPUS

タイムスケジュール 4.30 日

10:45 ~ 11:05 **オリエンテーション**
松尾記念館 2F 講堂

11:05 ~ 12:05 **模擬講義 & 進学資金説明会**
各教室にて実施

12:05 ~ 12:35 **キャンパス見学**
12:35 ~ 13:00 **昼食 (学食ランチ体験)**

12:35 ~ 13:20 **交通費精算** 時間厳守
松尾記念館 2F 講堂

13:30 ~ 14:00 **学生発表**
松尾記念館 2F 講堂

14:00 ~ 14:40 **大学全体説明**
松尾記念館 2F 講堂

14:40 ~ **学生寮見学**
松尾記念館 2F 講堂集合

14:40 ~ **個別相談コーナー**
松尾記念館 2F インフォメーション

情報大学 発 無料バス
JR野幌駅行き

14:40頃 出発
15:00頃 出発
15:15頃 出発
※個別相談が終了次第出発します

次回 オープンキャンパス
5月28日開催

01 先端経営学科 吉見研究室 115教室
目に見えないものは何がある?
～会計と見える価値～

様々な商品が開発された今日では、見えない「もの」にも会計の力で価値がつけられています。サービスだけでなく「ブランド」「文化」「社会貢献」も、ビジネスのタネとなります。実は目に見えない「もの」を支えている現代の世界を、実際の事例を通して見てみましょう。

02 システム情報学科 中島研究室 LLメディア実習室
～高校生にも身近なネットセキュリティ技術～

インターネットが攻撃のターゲットは、その情報システムを構成しているソフトウェアと、それを利用している人の行動です。特に高校生の輪の中にもおもしろい「Web」への様々な攻撃について、簡単な実演を交えながら、インターネットのセキュリティについて理解を深めます。

03 医療情報学科 斎藤静司研究室 116教室
医療情報専攻
人工知能技術の医療・健康分野への応用

人工知能は、様々な分野で応用、実用化されつつあります。医療及び健康科学分野は、こうした新しい技術が応用される最も有望な分野の一つです。今回の模擬講義では、専攻の紹介と共に、AIの基礎と医療への応用の例をいくつかご紹介いたします。

04 医療情報学科 加藤研究室 臨床工学実習室
臨床工学専攻
「医療はITの時代」臨床工学技士の魅力
～情報大学で学ぶ意義～

臨床工学技士は、一般の人が目にすることは少ないですが、病院の中で最先端医療機器の操作、管理をする重要な職種(いのちのエンジニア)です。体験学習では臨床工学技士の業務を紹介し、本学で保有している最先端医療機器に触れ、実際の体験をしてもらいます。医療はITの時代、最新機器がそろった本学の実習室を見学しながら是非いろいろな質問をしてください。必要な勉強のこと、自分に合っているかどうか、本学の雰囲気に関することで大学案内ではわからない新たな発見がたっぴあるはずです。

05 情報メディア学科 藤田研究室 118教室
デザイン専攻
映像クリエイターの思考法 「みるからづくる」へ

映像クリエイターは、いつでもどこでも考えて映像を作っているのか?この講義ではCMや短編映画など短い映像を見ながら、映像の撮影技法や演出意図など作りの思考をたどっていきます。この講義を受けたら映像を見る目が変わるかも?!

06 情報メディア学科 湯村研究室 画像メディア実習室
デザイン & テクノロジー専攻
画像メディア実習室
フィジカルコンピューティングでアイデアをかたちに!

ものを動かしたりセンサーからデータを取得したりする物理的な動作をもとにプログラミングやフィジカルコンピューティングを行います。Arduinoのようなマイコンを使えば、機械の専門的な知識がなくても、LEDを光らせたりモーターを動かしたりするテクノロジーを用いた作品を誰でも簡単に作れます。模擬授業では、フィジカルコンピューティングについて学び、シミュレーターを使って実際に体験してみましょう。

07 情報メディア学科 齋藤健司研究室 実習室1
テクノロジー専攻
アプリの作成体験

世の中には、様々なアプリが数々の生活に浸透しています。そんなアプリの中でも、一番身近なスマートフォンのアプリ。最も手軽な方法で作ることができます。実際に動作する簡単なゲームアプリを持ち帰れます。

08 経営情報学部 教職課程 プロジェクト講義室
教職課程
「学ぶとは?」から教員の職務について考えてみましょう!

本学では数学(中高)・情報(高)・商業(高)の教員免許取得ができます。教員は、生徒の学力向上だけでなく、生徒の成長に関わることもできます。とても魅力的でやりがいのある職業です。そこで、皆さんはどのような教師になりたいですか?教員は、各科目の授業を行うだけでなく、学ぶことの意義を伝えることで生徒が自ら学ぶようになること大切だと感じています。学業だけでなく大切な使命ではないでしょうか。今回は「学ぶ」というテーマについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

09 経営情報学部 教職課程 齋藤研究室 116教室
教職課程
教師という職業を知ろう!

各模擬講義の詳細は裏面へ!

② 15:10
③ 15:20

※3日目は個別相談が終了次第出発します

次回オープンキャンパス
6/25 SUN

総合型選抜・進学説明会を開催します!
受験を考えている方はぜひご参加ください。

14:40 ~

▶ 総合型選抜説明 <実習室1>
▶ 大学説明 <講堂>

学生寮見学・個別相談
※希望される方のみご参加ください。

無料バス発車時刻のご案内

情報大学 ⇄ JR野幌駅行き

① 14:45
② 15:10
③ 15:25

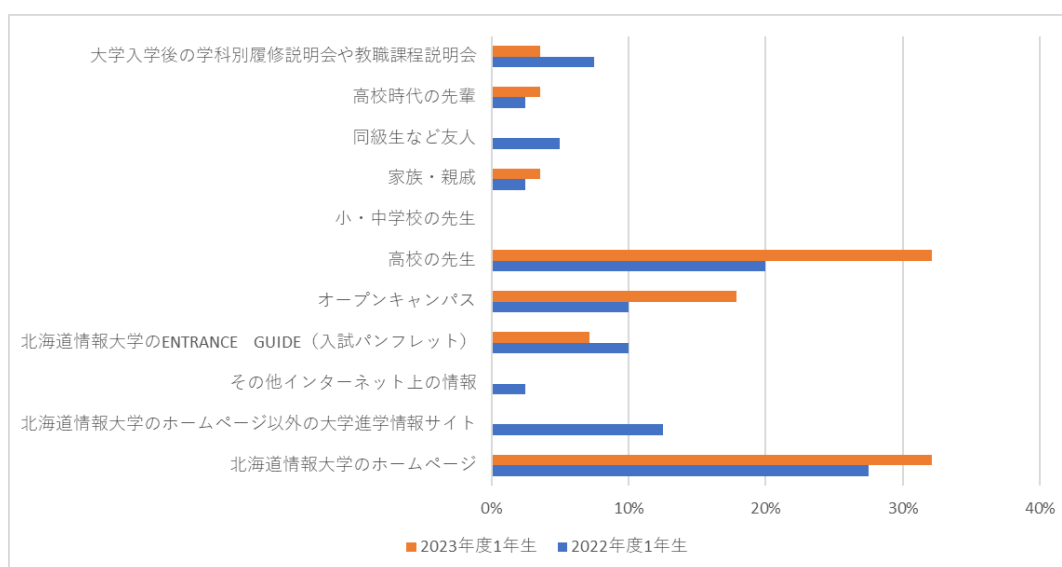
※3日目は個別相談が終了次第出発

次回オープンキャンパス
8/27 SUN

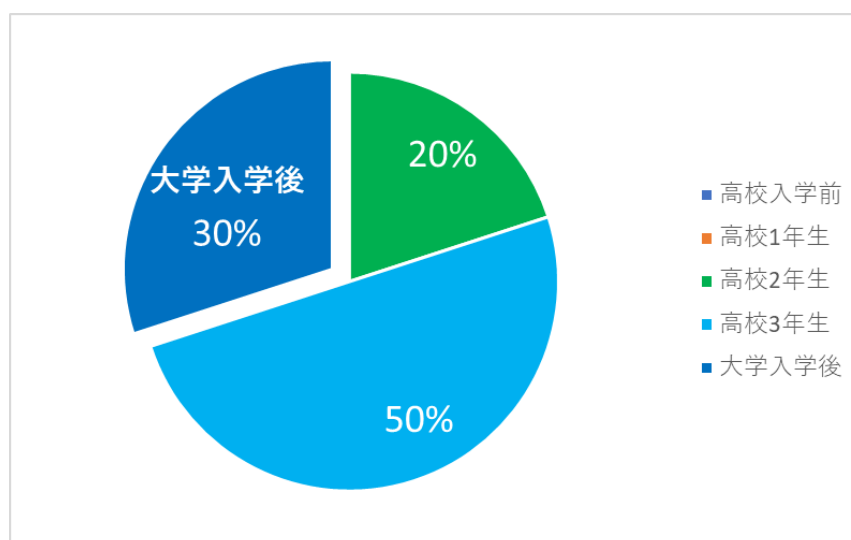
9月～始まる総合型選抜の直前対策説明会を行います! 受験を考えている方は必見です。

データ1:教職課程履修に関する学生アンケート結果

情報入手先	2022年度1年生	2023年度1年生
北海道情報大学のホームページ	27.5%	32.1%
北海道情報大学のホームページ以外の大学進学情報サイト	12.5%	0.0%
その他インターネット上の情報	2.5%	0.0%
北海道情報大学のENTRANCE GUIDE (入試パンフレット)	10.0%	7.1%
オープンキャンパス	10.0%	17.9%
高校の先生	20.0%	32.1%
小・中学校の先生	0.0%	0.0%
家族・親戚	2.5%	3.6%
同級生など友人	5.0%	0.0%
高校時代の先輩	2.5%	3.6%
大学入学後の学科別履修説明会や教職課程説明会	7.5%	3.6%



データ2: 学生が本学の教職課程を履修することを決めた時期



基準項目 2-2 教職へのキャリア支援

資料 2-2-1: 教職課程課程説明会、教職ガイダンスにおける教員採用状況及び最新動向の情報提供

新入生対象

教職課程説明会 1

2023年4月8日(土)
17:00~ 1:15 開講

Johodai
北海道情報大学 教職課程担当

新入生対象

教職課程説明会 2

2023年4月20日(木)
17:55~ 2:13 開講

Johodai
北海道情報大学 教職課程担当

2・3年生対象

教職ガイダンス

2023年5月9日(火)
17:55~ 2:13 開講

Johodai
北海道情報大学 教職課程担当

新入生対象

教職課程説明会 2

日時：2023年4月20日(木)
17:55~

教室：213 教室

【説明会の内容】

1. 教職の魅力と教員に求められる資質能力
2. 教職課程を履修するにあたって
※本学教職課程の目標と受け入れ方針等
3. 教員の採用について
4. 教育実習で求められる資質能力
5. 教職課程の構成
6. 教職課程の履修に関する注意事項
7. 教育実習を行うために-履修で注意すべきこと-
8. 履修科目について
9. その他
 - ピアヘルパーについて
 - 進学校心理士資格申請について
 - 学生ボランティア
10. 教職課程受講申し込みについて…教務課

2・3年生対象

教職ガイダンス

日時：2023年5月9日(火)
17:55~

教室：213 教室

【説明会の内容】

1. 教職の魅力と教員に求められる資質能力
2. 教職課程を履修するにあたって
※本学教職課程の目標と受け入れ方針等
3. 教員の採用について
4. 教育実習で求められる資質能力
5. 教職課程の構成
6. 教職課程の履修に関する注意事項
7. 教育実習を行うために-履修で注意すべきこと-
8. 履修科目について
9. その他
 - ピアヘルパーについて
 - 進学校心理士資格申請について
 - 学生ボランティア
10. 教職課程受講申し込みについて…教務課

教職課程説明及び教職ガイダンス学生配布資料

③ 教員採用について

(1) 教員採用(正規の教員)の流れ

○教職課程関係の科目をとり、卒業一免許申請、取得

→ 公立の学校の場合：都道府県・政令指定都市の採用試験
私立の学校の場合：学校独自の採用試験

*公立学校教員・私立学校教員採用関係まとめ

	公立学校の教員	私立学校の教員
採用者	都道府県・政令指定都市	各学校
採用試験	年1回(定期採用)	不定期
異動	あり	原則なし
教員の配置人数	生徒数に応じて法律で定められている学校ごとに配置人数を決められる	

(2) 教員採用の実績について

① 高校「情報」の教員採用について

1) 公立高校の教員採用試験を実施している都道府県は少ない…北海道は2019年度から実施。(1 他教科免許の取得が条件)

2) 私立高校の教員採用について

② 高校「商業」の教員採用について

③ 高校「数学」の教員採用について

④ 中学「数学」の教員採用について

⑤ その他

3) 教員採用試験対策 : 教員採用選考実施要綱、過去問題(各都道府県教育委員会HP参照)

引用文献 北海道教育委員会 北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査に係る検査問題等の公開について
<https://www.dokyojyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hkj/omokae-wakodo-hokkai.html> 2023/03/19 アクセス

【北海道教育委員会資料】
令和6年度(2024年度)北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査【北海道採用希望者向け】抜粋

資料2-2-2:教員採用情報の情報提供【通信教育部】

通信教育部ポータルサイト

メニュー

マイページ

オリエンテーション

学習について

印刷授業

インターネットメディア授業

面接授業（スクーリング）

IPメディア授業
（正科生Bのみ）

科目試験

通信教育部POLITE

教職課程

ダウンロード

HIU通信


スケジュール

各種手続

証明書申請

学生生活

学費



北海道情報大学 通信教育部 ポータルサイト

教育人材総合支援ポータルサイトの開設について

📅 2023年3月28日


このたび、文部科学省ウェブサイト内に、教職に関する情報発信や、教師のなり手確保の支援の一つとして、「教育人材総合支援ポータルサイト」が開設されました。

このポータルサイトでは、各教育委員会の教員採用や講師等募集に関する基本情報や教職PR 情報等が確認できるほか、教師を取り巻く政策に関する情報等が確認できます。

今後、定期的な更新により、最新情報を掲載するとともに、各地で開催されるイベント情報や、独立行政法人教職員支援機構による教職を目指す社会人・学生向けの研修動画等も掲載される予定です。

教員になるための情報収集としてご活用ください。

通信教育部 HP



北海道情報大学
通信教育部

トピックス >

学生の種類 >

学習の仕方 >

学科の紹介 >

教職課程(教員免許) >

学費・学費サポート >

通信教育部の概要 >

教育職員免許法施行規則第22条の6に基づく情報公開

➡ 1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

Click!

➡ 2(1) 教員の養成に係る組織及び教員の数

Click!

➡ 2(2) 各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

Click!

➡ 3(1) 教員の養成に係る授業科目

Click!

➡ 3(2) 授業科目ごとの授業の方法及び内容

Click!

➡ 3(3) 年間の授業計画に関すること

Click!

➡ 4 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

Click!

➡ 5 卒業者の教員への就職の状況に関すること

Click!

➡ 6 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

Click!

資料2—2—3:教員採用試験対策自主ゼミ(Jゼミ)

Jゼミ(教職教養研究会)の実施概要について

担当者

1. 概要(学生への周知文)

教員採用試験において出題された教職教養分野の問題を解き、その分析を通して、試験対策を進めていきます。教職教養は、教育現場でもしっかりと生きる知識となります。ただし本質的な理解や系統的な整理などとともに、「今、教職の基盤を作っているんだ」という意識が必要です。同じ志を持つ仲間との学び合いは励みになり、モチベーションも維持されることでしょう。北海道・札幌市公立学校教員候補者選考の第1次検査(教養検査)は、昨年度までは6月下旬に実施していましたが、新年度から早期化していくことが全国的な傾向です。教職教養20問、一般教養20問の構成であり、少なくとも1年間の試験対策は必要です。2・3年生を対象とします。

2. 学生数

2016(平成28)年度から現在まで継続して実施している。学生数は5~10名程度である。

3. 2023年度の実施内容

(1) 毎週火曜日の6講時(17:55~19:25)に、ゼミ室4で勉強会を行っている。

(2) 実施方法

① 基本は学び合いである。教員は教員採用試験の過去問題(下記)を用意して、学生一人一人に自分の担当する問題を指定する。学生は担当問題を解き、どのようにして解答を導いたかを説明する。その後、教員が正解とその解説について補足説明をする。その際に文部科学省の政策文書や中央教育審議会の答申などを参考資料として配布して、各自、読み込むように指示をしている。

- 北海道・札幌市公立教員採用候補者選考 第1次検査教養検査(教職教養分野)の過去問題
- 全国教職教養(教育原理・教育課程と学習指導要領・教育心理・教育史)の過去問題

② Google Classroomを活用して、学生の自主的な試験対策をサポートしている(資料参照)。

資料 2023年度 第1回目のJゼミにおける配付プリントから

① 昨年度の試験に挑戦する(相手を知ろう)

…点数が問題ではない。これからの対策を考えることが重要なのです。

② Google Classroomにある資料を活用して、試験対策を始める

…以下の3分野のサブノートを作成する。

2022年度教職教養(分野別)問題集 教育原理/学習指導要領/教育心理

2024年度北海道札幌市採用試験参考書 教育原理/教育課程・学習指導要領/教育心理

③ 一般教養対策は、自分で書店に行って、参考書や問題集を買って、コツコツと始める

④ 専門検査(教科の学力を問う試験)も始める。(次のどちらかの方法で、問題を入手)

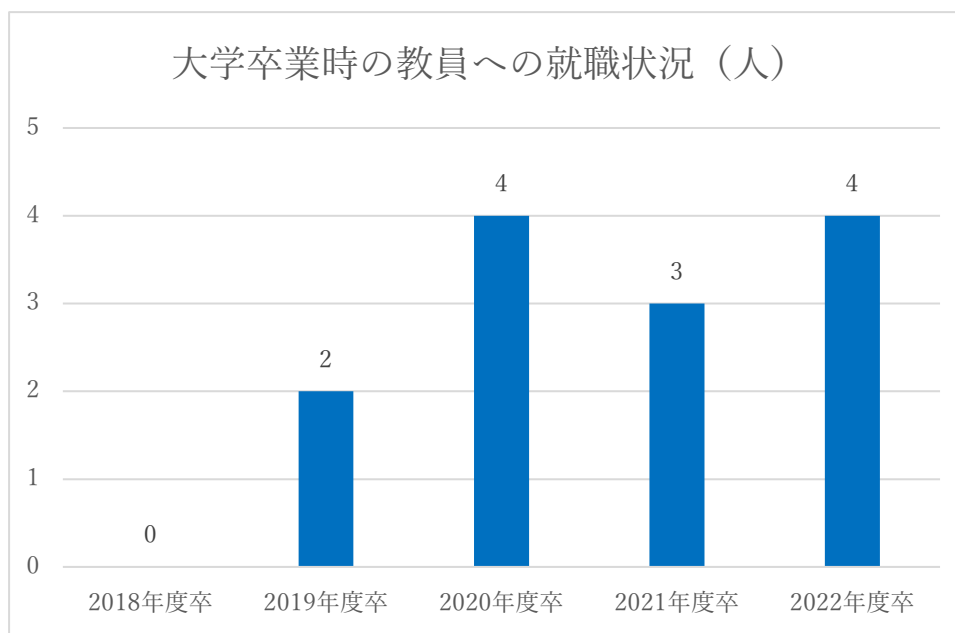
- 協同出版「2024年度版 北海道・札幌市の〇〇科過去問」を購入する。
- 北海道教育委員会に行って過去問題をコピーさせてもらう。(詳しくは北海道教育委員会のHP)

教員採用試験対策の Classroom

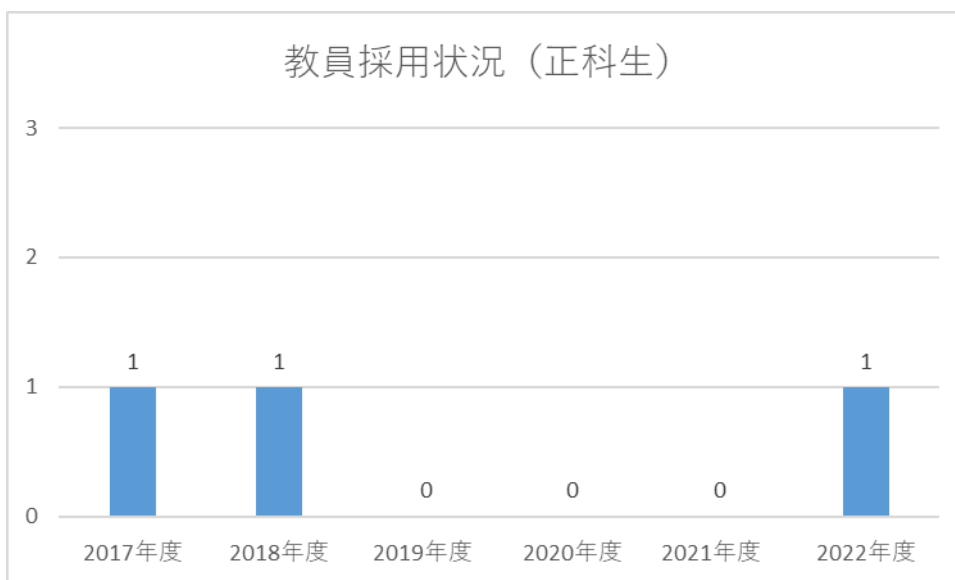
The screenshot shows a Google Classroom page for a class named "Jゼミ教職教養研究会". At the top right, there is a "カスタマイズ" (Customize) button. The main content area includes a "Meet" section with a "参加" (Join) button and a "生徒に表示" (Show to students) toggle. Below this is a "期限間近" (Deadline approaching) notification stating that there are no upcoming assignments. The main feed contains a post from user "達" (Tatsu) dated February 10th (10:11 AM), announcing the "Jゼミ (教職教養研究会)" meeting on Wednesdays from 17:55 to 19:25 in Seminar Room 4. The post lists required items as a laptop and stationery, and encourages members to form a team. Below the post is a "クラスのコメントを追加..." (Add class comment...) input field. At the bottom, there is a comment from user "権達" (Ken Tatsu).

データ1:教員採用状況【通学部】【通信教育部】

教員採用状況【通学部】

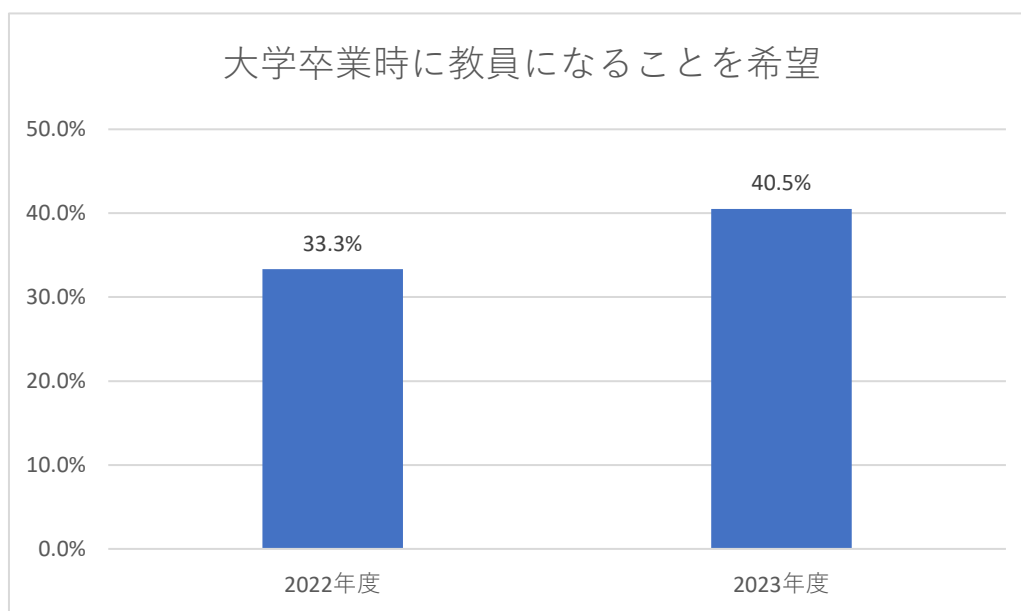
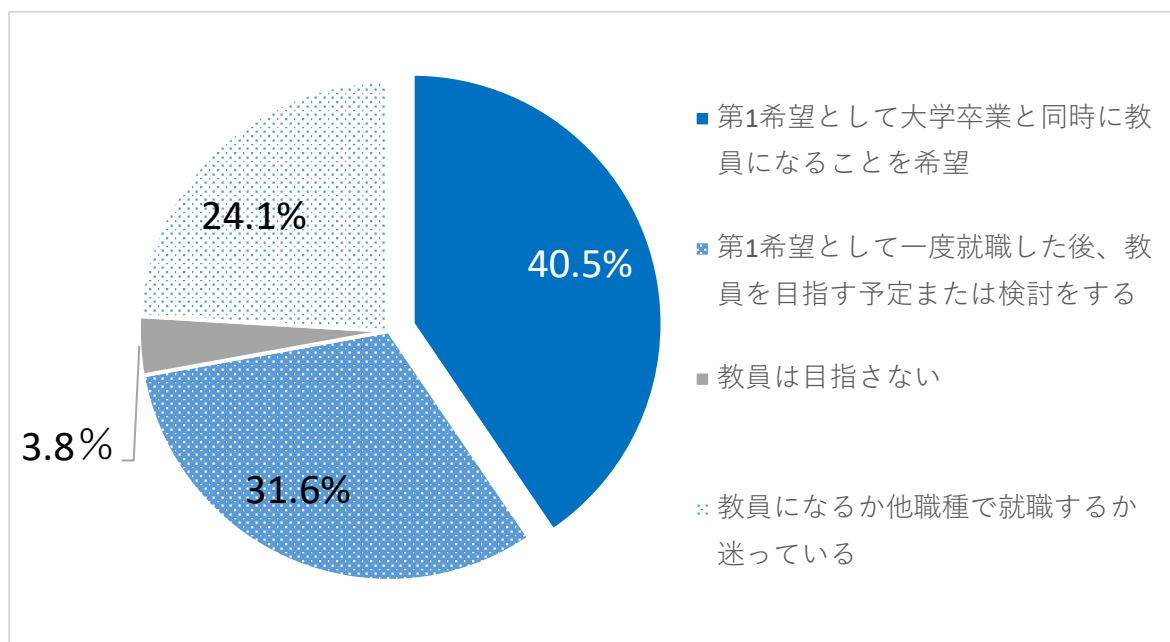


教員採用状況【通信教育部】



データ2: 学生の教職意向調査結果【通学部】

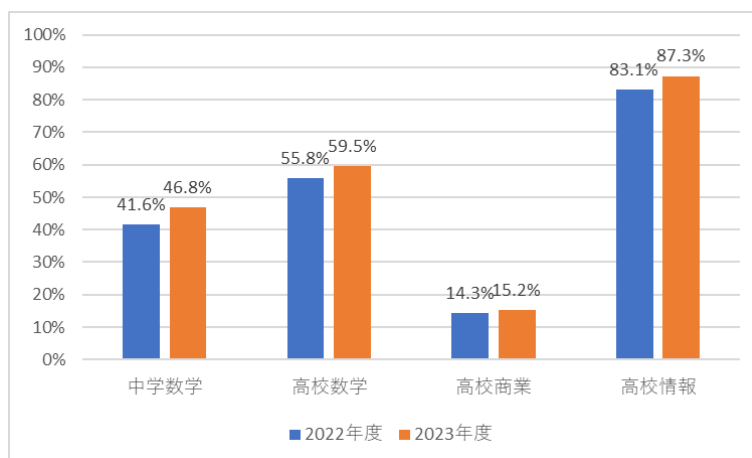
(回答学生 79 名 : 回答率 100%)



データ3:複数科目履修者の推移【通学部】

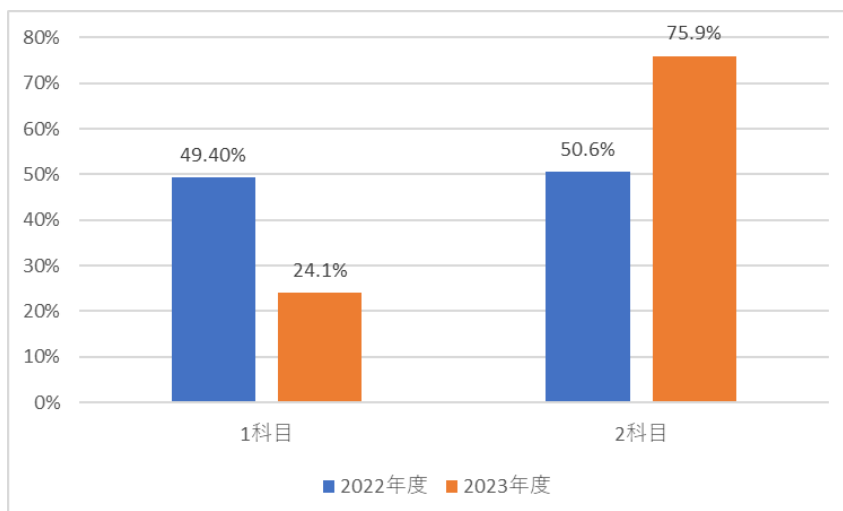
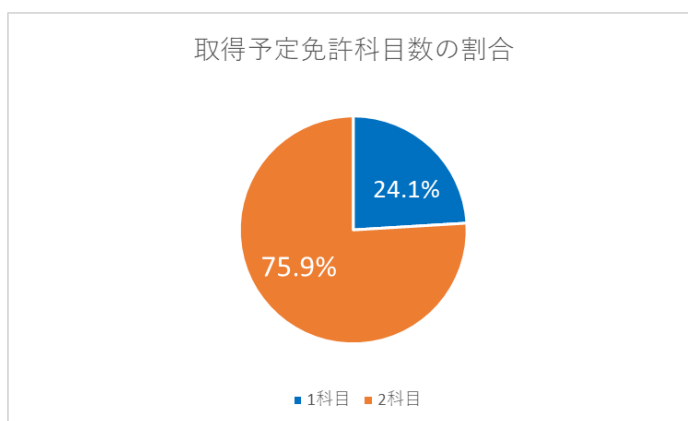
【通学部】2022年5月実施（総回答数78名：回答率100%）

2023年5月実施（総回答数79名：回答率100%）

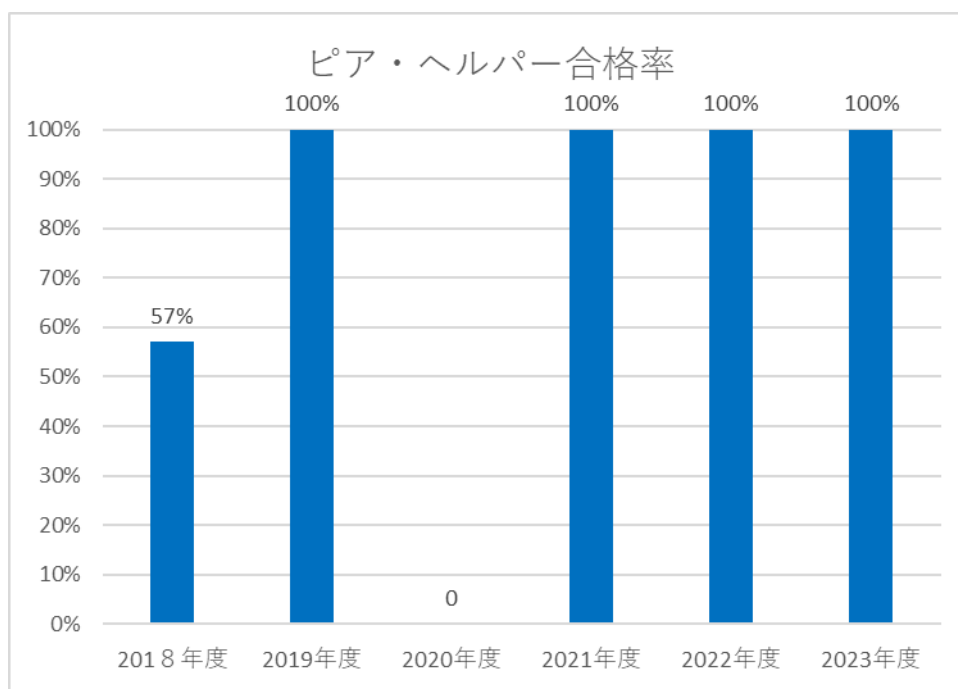


【通学部】2022年5月実施（総回答数78名：回答率100%）

2023年5月実施（総回答数79名：回答率100%）



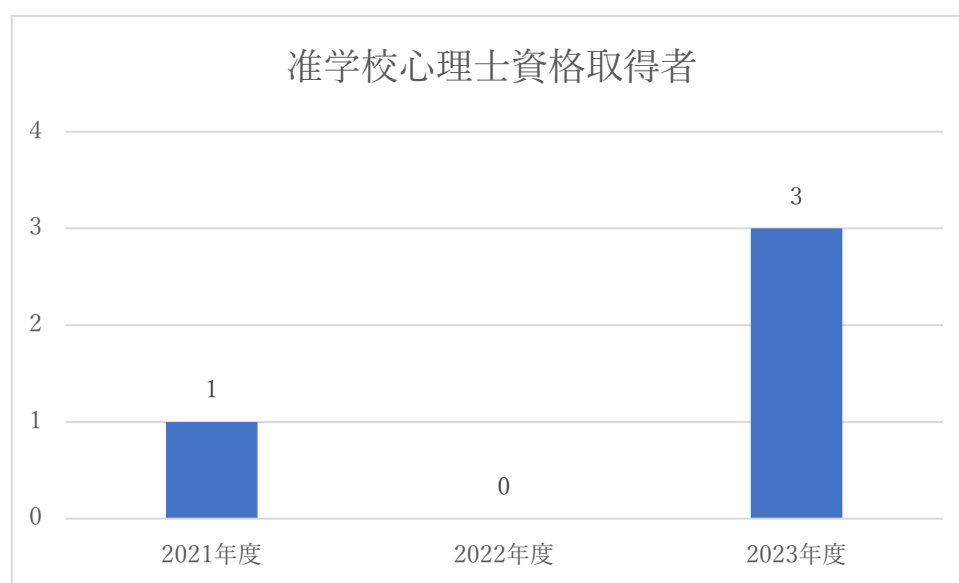
データ4:ピア・ヘルパー合格率の推移と准学校心理士申請者数の推移【通学部】



2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
57%	100%	未実施	100%	100%	100%

※2020年度のコロナ禍により試験中止

准学校心理士資格取得者数



基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施


資料3-1-1:通学部の教職科目間の関連図の冊子

北海道情報大学

教職課程

教育の基礎的理解に関する科目
道徳、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育相談等に関する科目
におけるキーワードから見た科目間の関連

Ver.1.1



北海道情報大学教職課程委員会
2023年7月4日

目次

第1編 授業計画とキーワード

教育の基礎的理解に関する科目

教職概論 1

特別支援教育 2

教育原理 4

教育制度論 5

教育心理学 7

教育課程 10

道徳、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育相談等に関する科目

生徒指導 13

特別活動論 15

学校教育相談 16

道徳教育の理論と実践 19

教育方法論と総合的な学習の時間の指導法 21

進路指導 23

ICT活用の理論と実践 24

第2編 キーワードに基づく各科目関連図

キーワードカテゴリー別関連図

法令等 25

人物 26

社会と情報化 27

育みたい力 28

組織体制・評価 29

教育方法 30

キャリア 31

総合的な探究(学習)の時間、特別活動 32

生徒指導 33

特別支援教育 34

相談 35

本誌の見方

第1編

緑色：教育の基礎的理解に関する科目
 橙色：道徳、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育相談等に関する科目

赤枠内は
 文部科学省のコアカリキュラム全体目標および一般目標となります

シラバス記載内容

各講義におけるキーワード

第2編

青色：教育の基礎的理解に関する科目
 橙色：道徳、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育相談等に関する科目

科目の配当学年

キーワードを使用して
 科目を線で結んでいます

カテゴリーに関して頻出するキーワード

資料3-1-3:教職説明会、教職ガイダンス資料

最新動向の情報提供

新入生対象

教職課程説明会 1

2023年4月8日(土)
17:00~18:30

北海道情報大学 教職課程担当

新入生対象

教職課程説明会 2

2023年4月20日(木)
17:55~

北海道情報大学 教職課程担当

2・3年生対象

教職ガイダンス

2023年5月9日(火)
17:55~

北海道情報大学 教職課程担当

新入生対象

教職課程説明会 2

日時：2023年4月20日(木)
17:55~

教室：213教室

【説明会の内容】

- 1.教職の魅力と教員に求められる資質能力
- 2.教職課程を履修するにあたって
※本学教職課程の目標と受け入れ方針等
- 3.教員の採用について
- 4.教育実習で求められる資質能力
- 5.教職課程の構成
- 6.教職課程の履修に関する注意事項
- 7.教育実習を行うために-履修で注意すべきこと-
- 8.履修科目について
- 9.その他
 - ピアヘルパーについて
 - 進学校心理士資格申請について
 - 学生ボランティア
- 10.教職課程受講申し込みについて…教務課

2・3年生対象

教職ガイダンス

日時：2023年5月9日(火)
17:55~

教室：213教室

【説明会の内容】

- 1.教職の魅力と教員に求められる資質能力
- 2.教職課程を履修するにあたって
※本学教職課程の目標と受け入れ方針等
- 3.教員の採用について
- 4.教育実習で求められる資質能力
- 5.教職課程の構成
- 6.教職課程の履修に関する注意事項
- 7.教育実習を行うために-履修で注意すべきこと-
- 8.履修科目について
- 9.その他
 - ピアヘルパーについて
 - 進学校心理士資格申請について
 - 学生ボランティア
- 10.教職課程受講申し込みについて…教務課

教職課程説明及び教職ガイダンス学生配布資料

(5) 教職課程を履修するにあたって

資料 p.4

2 教職課程を履修するにあたって

(5) 教職課程を履修するにあたって

②複数の教員免許状を取得しましょう
（「商業+情報」、「数学+情報」など）

と表記

↓

②複数の教員免許状を取得しましょう（「商業+情報」、「数学+情報」など）
⇒ 複数免許（複免）取得者は単独免許取得者よりも教員として採用される可能性が高くなります

4 教育実習で求められる資質能力

(1) 教育実習の目的：実習校と実習生の視点

○実習校の視点 ～ 社会人としてのマナー、教職を志す人物としての人間性や技能（スキル）を
持ち合わせているか
※人物・性格・行動面：風和 明朗 積極性 協調性 自律 連絡 相談 報告

- ・免許取得の場面・場所の提供ではない
- ・実習生の本気度を見せてほしい
- ・教科指導力（専門教科）
- ・生徒指導力（沈着冷静・毅然とした応答）はあるか
- ・対教職員・対生徒 = コミュニケーション能力の有無（思いやり やさしさ 傾聴力 他）
- ・学級経営・学年経営、学校行事、部活動指導への参加姿勢はどうか
- ・学校ルール遵守（社会人マナー） 法令遵守 秘密保持
- ・自己管理能力：健康管理（コロナ感染予防） 危機管理意識

○実習生の視点 ～ 教育者として求められる資質能力：自己チェックしてみよう

【内面的資質能力】 先見性 自主性 積極性 自立性 正義感
思いやり 決断力 判断力 思考力

【対面的資質能力】 情報分析力 傾聴力 会話力 バランス感覚
異年齢コミュニケーション(マナーエチケット) 愛情表現

【教育職員の姿勢】 コンプライアンス(法令遵守)
リーガルマインド(法令に基づく柔軟での確な判断)

☆自分なりの教育モットーを創ろう！：「

資料3-1-4: 学生自己評価のコミュニケーションに関する項目変更

情報処理技術を身に付けた教員としてのコミュニケーション能力（横断的な内容）
③⑦ 自らの考えや意見などを相手に分かりやすく伝えることができましたか。
③⑧ 相手の考えの傾聴に努めるなど、互いを尊重して意思疎通を行うことができましたか。【内容修正】
③⑨ 集団の中で協働的に行動することの重要性を理解できましたか。【他のカテゴリーへ】
③⑩ 保護者との連携の重要性を理解できましたか。【他のカテゴリーへ】
③⑪ 地域等との連携の重要性を理解できましたか。【他のカテゴリーへ】
③⑫ 他者の意見やアドバイスに耳を傾けることができましたか。
③⑬ 学生相互に高め合おうとすることができましたか。



自己表現力（コミュニケーション能力）※各項目の横断的な内容
③⑭ 自らの考えや意見を相手に分かりやすく伝えることができましたか。
③⑮ 相手が何を話したいかについて傾聴することができましたか。【新規項目】
③⑯ 話し合いにおいて相手の考えも自分の考えも尊重する自己表現をすることができましたか。【新規項目】
④⑰ 自らと異なる価値観の相手の考えも尊重しつつ話をすることができましたか。【新規項目】
④⑱ 学生相互に高め合おうとする話し合いができましたか。
④⑲ 自らの感情をコントロールして冷静な話し合いができましたか。【新規項目】

資料3-1-5:カリキュラムアドバイザーボード会議における商業科教育法の実践報告

令和5年度
北海道情報大学
第16回カリキュラム・アドバイザーボード会議
教職課程自己点検評価に係るカリキュラム改善

期 日：令和5年9月7日（木）
13時00分～16時00分

北海道情報大学教職課程委員会
委員長 五浦 哲也

報告の構成

- 1 教職課程の自己点検評価導入の経緯について
- 2 本学における教職課程の自己点検評価の組織
- 3 自己点検評価における総合評価について
- 4 昨年度の本会議で受けた助言
- 5 改善に向けた取組と結果

5 改善に向けた取組と結果

基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

・⑦教科の専門性習得に向けての取組<商業科教育法Ⅰの実践>別所先生

商業科教育法Ⅰで学ぶ20科目		「商業科教育法」の学修目標について
ビジネス基礎	簿記	学修テーマ⇒「実践的指導力」の向上 ○学修テーマの確認（イントロダクション） 「実践的指導力」とは、 ・実践的指導力とは、教育者としての使命感、人間の成長・発達についての深い理解、幼児・児童・生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、これらを基盤とした能力を指す。 ○学びの目的：教師力の向上＝総合的な人間力 教科指導力 生徒指導力 学校組織力（チーム力）コンプライアンス（法令遵守）リーガルマインド（法律の実際適用に必要とされる柔軟的・確かな判断） ○学びのキーワード：教科指導 生徒指導 豊かな人間性 教育公務員倫理（服務専念）
課題研究	財務会計Ⅰ	
総合実践	財務会計Ⅱ	
ビジネス実務	原価計算	
マーケティング	管理会計	
広告と販売促進	情報処理	
商品開発	ビジネス情報	
ビジネス経済応用	プログラミング	
ビジネス経済	電子商取引	
経済活動と法	ビジネス情報管理	

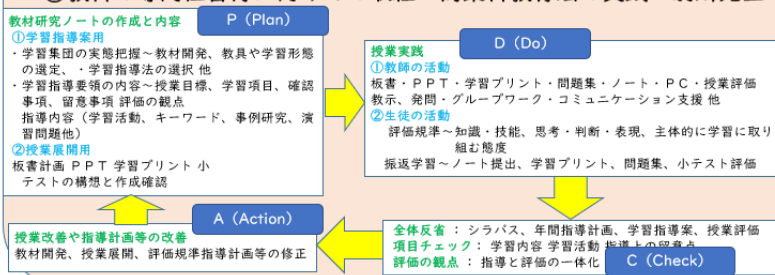
取組と結果

基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

対象学生：2022年度2年生4名
2023年度2年生3名、3年生2名

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

・⑦教科の専門性習得に向けての取組<商業科教育法の実践>別所先生



5 改善に向けた取組

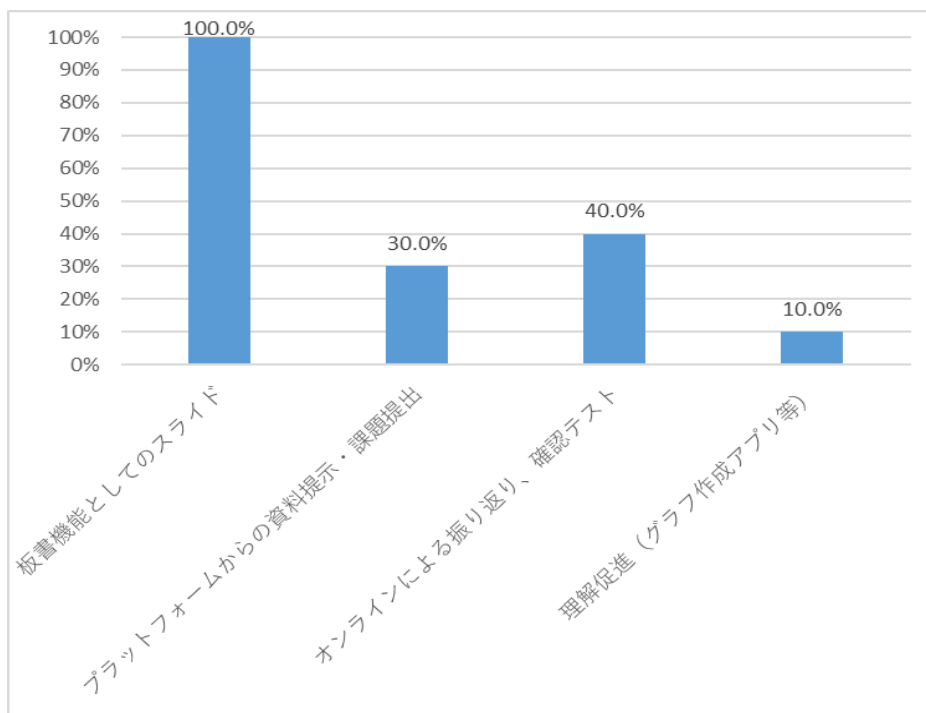
基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

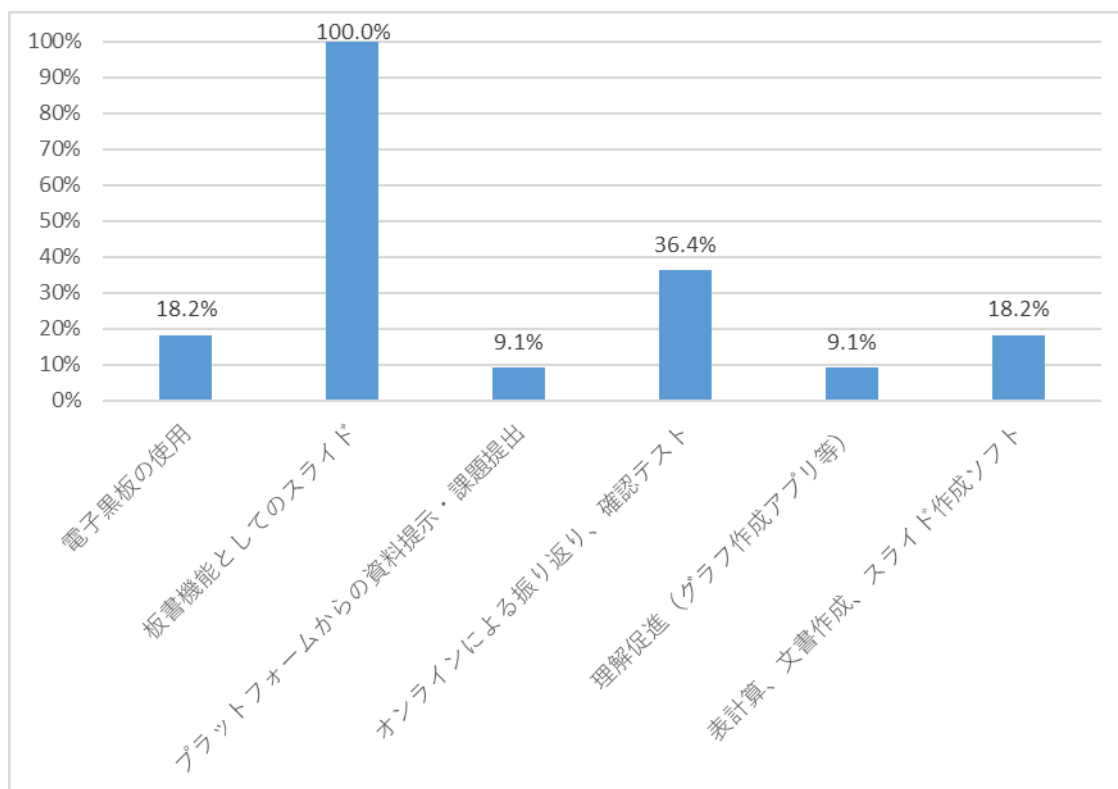
・⑦教科の専門性習得に向けての取組<商業科教育法の実践>別所先生

データ1:教職実践演習における ICT 活用の実態

<2022 年度>



<2023 年度>



基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

資料3-2-1:学生ボランティアに向けての意欲喚起への取組

学校ボランティアについて

【本学ボランティア参加者の声】 **Fさん**
 私がボランティアを行った期間は、教員採用試験前・長期休暇・教育実習の時期を除いた、6月下旬～7月下旬、10月中旬～12月末で、授業の

学校ボランティアについて

【本学ボランティア参加者の声】 **Gさん**
1.学生ボランティアをして良かった点
 学生ボランティアを経験して、普段の学生生活では体験できないような経験をさせていただけたのがとても嬉しかったです。
 また、実際の教育現場の状況を実際に見ることができ、自分の頃との違いを感じました。最後に、

学校ボランティアについて

【本学ボランティア参加者の声】 **Gさん**
3.学生ボランティアを体験して気づいた教育現場の素晴らしい点
 教育現場のデジタル化が進むことによって、オンライン教材の活用が活発になっており、教師が教室にいなくても授業ができる形式になってきたのが驚きでした。その中で教師はわからない生徒とビデオ通話をしてあげていたので、

学校ボランティアについて

【本学ボランティア参加者の声】 **Hさん**
・学習ボランティアを体験して良かった点
 学習ボランティアに参加してよかったと思う点は、実際に生徒と触れ合うことができることや、先生方の生徒への接し方などを近くで見学することができることだと思いました。講義でわかっていても、実際に体験すると、

学校ボランティアについて

【ボランティア事業】 主催：江別市教育委員会
【目的】
 学校の教育活動を支援する一方策として、大学において募集する学生を各学校へ派遣し、個に応じた支援を行うとともに、派遣学生の資質の向上、さらには将来、教職に就く上での動機付けとします。

資料3-2-2:介護等体験のレポート課題

介護等体験事前指導のスライド資料（令和5年2月15日実施）

感想レポート

「介護等体験を 教育実習にどう生かすか」

○教育実習を終えている方
（「介護等体験を教育現場で
どのように生かしていきたいか」）

※特別支援学校・社会福祉施設それぞれ
体験終了後1週間以内に提出して下さい。

資料3-2-3:教育実習校からの情報収集

カリキュラム・アドバイザーボード会議での報告資料

令和5年度
北海道情報大学
第16回カリキュラム・アドバイザーボード会議
教職課程自己点検評価に係るカリキュラム改善

期 日：令和5年9月7日（木）
13時00分～16時00分

北海道情報大学教職課程委員会

報告の構成

- 1 教職課程の自己点検評価導入の経緯について
- 2 本学における教職課程の自己点検評価の組織
- 3 自己点検評価における総合評価について
- 4 昨年度の本会議で受けた助言
- 5 改善に向けた取組と結果

5 改善に向けた取組と結果

基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援

基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

・教育実習前の不安と教育現場からの要請把握（通信）

教育実習生（通信教育部）からの声

- ・1度でも指導案の添削があるとありがたい
- ・模擬授業経験がなく教育実習に行くこと
- ・無限大キャンパスの情報が多岐に散らばっているので1か所に集中してほしい

教育現場からの声（通信教育部、通学部）※担当して下さった先生からの聞き取り

- ・授業以外にも教員の仕事について理解してほしい
- ・教科に関する知識を確実に身につけてほしい
- ・コミュニケーション能力を身につけてほしい（生徒や先生方に）
- ・模擬授業経験を増やしてほしい
- ・生徒の手本となる言動ができる力を身につけてほしい
- ・教員を目指している学生に来てほしい
- ・実習日誌を書く力を身につけてほしい（手書きになると書けない）
- ・主体的・対話的な授業を実践できる力を育成してほしい

教職ミーティング議題

2023 第2回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 5月 18日 (木) 10時 00分～
 開催場所 通信教育棟 会議室
 出席者

議題

- 1 教育実習報告会について
- 2 通信教育部教職課程科目履修者の承認について

報告・連絡

- 1 教職課程説明会、教職ガイダンス出席状況
- 2 江別市学生ボランティア派遣事業参加者について
- 3 第42回研究大会・令和5年度定時社員総会(5月20日(土))
- 4 北海道・札幌市教員採用試験希望状況
- 5 教職課程受け入れ方針の誤字訂正について
- 6 通信教育部 通信制高校での実習校要件について
- 7 教育実習訪問指導関係の交流
- 8 情報交流(教育実習I模擬授業指導など)
- 9 教職課程自己点検評価取組の進捗状況交流

2023 第3回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 6月 12日 (月) 10時 40分～
 開催場所 通信教育棟 会議室
 出席者 橋 達・渡邊 仁・別所 正一・五浦 哲也

議題

なし

報告・連絡

- 1 全私教協参加報告
(5月20日(土) 10:00-16:00 会場TKPガーデンシティ仙台)
- 2 教育実習I(教育実習報告会)
- 3 通信教育委員会報告
- 4 介護等体験実習(特別支援学校2日間)
- 5 北海道私立大学・短期大学教職課程研究連絡協議会 定期総会・研究大会
- 6 通信教育部学生の教育実習について
- 7 准学校心理士申請申込について
- 8 北海道・札幌市教員採用試験希望状況
- 9 教育実習訪問指導情報交流
- 10 情報交流(教育実習I模擬授業指導など)
- 11 教職課程自己点検評価取組の進捗状況交流

2023 第4回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 7月 20日 (木) 10時 40分～
 開催場所 通信教育棟 会議室
 出席者

議題

- 1 通信教育科目の教職科目認定について
- 2 カリキュラムアドバイザーボード会議について
- 3 本学教職課程の目標について
- 4 教育実習報告会について
- 5 教育実習訪問指導に関する検討事項

報告・連絡

- 1 教職実践演習(模擬授業と検討会)計画について
- 2 通信教育部の教育実習について
- 3 今後の教育実習指導訪問と教育実習訪問指導の情報交流
- 4 教職課程FDの計画
- 5 教員採用試験受験状況に関する情報交流
- 6 今後の介護等体験について(通学・通信)
- 7 通信教育委員会報告
- 8 准学校心理士申請申込状況、草の根教育実習申込状況について
- 9 教職課程自己点検評価取組の進捗状況と今後の計画の確認、学生自己評価の取組(前期末)

2023 第5回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 9月 8日 (金) 13時 00分～
 開催場所 通信教育棟 会議室
 出席者

議 題

- 1 第3期中期目標・中期計画・2023年度計画について
- 2 通学部教職課程履修員について
- 3 教職課程自己点検・評価報告書について
- 4 通信教育部後期教育実習受講者判定について

報告・連絡

- 1 教職課程後期の予定と役割の確認
- 2 通学部教職課程に関する科目変更について
- 3 介護等体験進捗について (通学・通信)
- 4 通信教育委員会報告
- 5 准学校心理士資格申請状況、草の根教育実習申込状況について
- 6 カリキュラム・アドバイザーボード会議の結果
- 7 教職課程FDの計画・進捗状況
- 8 教員採用試験受験結果に関する情報交流
- 9 教育実習指導訪問 (含: 通信教育部学生)、夏期スクーリングを含めた情報交換

2023 第6回 教職課程ミーティング

開催日時 2023年 10月 23日 (月) 12時 55分～
 開催場所 通信教育棟 会議室
 出席者 橋 達・渡邊 仁・別所 正一・五浦 哲也

議 題

- 1 2023年度3・ について
- 2 2023年度介護等体験説明会 (11/22) 現3年生対象
- 3 教職実践演習外部講師講演について
- 4 2024年度通教スクーリングの本学会場について
- 5 教職専任教員の役割分担の見直し

報告・連絡

- 1 2022年度、2023年度通教スクーリングの日程について
- 2 教職課程後期今後の予定と役割の確認
- 3 2022年度全国私立大学教職課程協会研究交流集会
- 4 介護等体験の実施状況 (通信教育部含む) など
- 5 通信教育委員会報告
- 6 ビアヘルパー受験申込状況について (申込締切 10/27)
- 7 准学校心理士合格者
- 8 教育実習指導訪問、教員採用試験についての情報交流

資料3-2-4:教育実習 I 動画コンテンツと e テスト

補助教材
「教育実習事前指導」

■ 学習を始めるにあたって

このページでは、教育実習事前指導として、教職担当教員による授業3件と、本学通学課程学生による模擬授業を3件、教育実習受講後の教育実習報告会を1件掲載しています。

教育実習事前指導は、教職に関する科目である「教育実習 I」の事前指導にあたります。このため、「教育実習 I」で使用する教科書（「教育実習の手引き」と「教育実習日誌」）が必要ですので、事前に準備をしてから視聴してください。

映像の内容は教育実習に行くために必要な心構えや事前準備について説明しておりますので、何度も繰り返し視聴し、教育実習の準備を進めていくことを望みます。

■ 学習の流れ

1	<p>以下の7つの動画を視聴してください。なお、資料のある動画については、視聴前にダウンロードして、手元（紙媒体かタブレットやPC上）に置いて参照しながら、視聴してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習の基礎知識と実習日誌の作成方法（概論） 2. 教育実習に向けて 3. 学習指導 4. 模擬授業第1回 5. 模擬授業第2回 6. 模擬授業第3回 7. 教育実習報告会
2	<p>eテストを実施して下さい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 7つのビデオを受講後に、eテストを受験してください。 2. eテストには4つのカテゴリがあります。カテゴリ I と II を試験1、カテゴリ III～IV を試験2とします。 3. 試験1（カテゴリ I・II）は、全問正解するまで繰り返し受験してください。全問正解時に解説も表示しますので、教育実習前にしっかりと確認しておいてください。 4. 試験2（カテゴリ III・IV）は、これまで学んできた教職科目や教育時事からの出題です。教員採用試験（教職教養）を参考にした設問も多く準備していますので、繰り返し受験することをお勧めします。カテゴリ III は70%以上正解で合格となります。不合格の場合は、合格するまで繰り返し受験してください。カテゴリ IV は合格基準はありません。 5. このeテストの受験の有無について、教職員で確認いたします。試験1をクリアしたかどうかは、教育実習許可の条件になりますので、確実に実施してください。

e テスト

←

eテストを受験する

タイトル「1. 教育実習の基礎知識と実習日誌の作成方法（概論）」

以下の資料をダウンロードして手元で確認しながら動画を視聴してください。

「教育実習の基礎知識と実習日誌の作成方法（概論）」資料をダウンロードする


教育実習事前指導

映像教材

▶ 0:00 🔊 🔄 ⋮

↑ Top

タイトル「2. 教育実習に向けて」




教育実習事前指導
映像教材

▶ 0:00

↑ Top

タイトル「3. 学習指導」




教育実習事前指導
映像教材

▶ 0:00

↑ Top

タイトル「4. 模擬授業第1回」

本学通学課程の学部生による模擬授業です。(2名でいずれも数学の模擬授業)。



教育実習事前指導
映像教材

▶ 0:00

↑ Top

資料1-2-5:教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ・Ⅲを関連付けた課題【通信教育部】

教育実習Ⅰにおける動画視聴後のレポート課題

シラバス検索 通信教育課程

1 事前指導
 「事前指導」は「教育実習」の直前に行う指導だけを意味するものではなく、実習校決定の前後における一連の指導をも含むものですが、教材では実習の直前に行う「事前指導」に限定して行います。主な内容は次の通りです。資料のある動画については、視聴前にダウンロードして、手元（紙媒体かタブレットやPC上）に置いて参照しながら、視聴してください。

- ・教育実習の基礎知識と実習日誌の作成方法（動画①）
- ・教育実習に向けて（動画②）
- ・教科の指導法（動画③）
- ・模擬授業第1回～第3回（動画④～⑥）
- ・教育実習報告会（動画⑦）

※すべての動画の視聴後にレポートを作成し、提出すること。

レポート課題（事前指導）
 形式 A4版 40×30行
 内容 (1)、(2)について、それぞれ1200字程度
 (1)授業実習にあたって心得ておくべきことについて書きなさい。(1200字程度)
 ※「教育実習」の意義・目的、実習の概要、心構え、準備をふまえて
 (2)教育実習にあたって、自分にとって、これから解決すべき課題と教育実習に向けての決意について書きなさい。(1200字程度)
 ※学習指導、生徒指導、規範意識、社会人としてのマナー、生徒、先生方とのコミュニケーションなど(1200字程度)

教育実習Ⅰ（事前指導）eテストの実施
 試験1
 カテゴリⅠ（教育実習の意義と基礎知識）とカテゴリⅡ（教育実習日誌の作成と実習内容）は、全問正解になるまで、繰り返し実施してください。
 試験2
 カテゴリⅢ（教職教養）とカテゴリⅣ（教育時事）は、これまでの履修で学んできたことの確認や教員採用試験（教職教養）に向けての学習に活用してください。1回は必ず受験し、その後は何回も受験することができます（問題はランダムに分野ごとに5問出題）。

※ eテストの受験の有無は、こちらで確認します。

教育実習Ⅰの動画の内容

教育実習

教育実習実施後の教育実習Ⅱ・Ⅲのレポート課題

シラバス検索 通信教育課程

2 事後指導
 「事後指導」の授業の内容は、次の通りです。
 ・実習内容を整理して「教育実習レポート」（A4版43字×43行、3枚程度（下記①～③について各1枚程度））にまとめる。
 ※レポートテーマ
 ①学習指導について（苦労したこと・工夫したこと、学んだことなど）
 ②生徒指導について（ホームルーム（SHR,LHR）について、部活動や掃除、生徒とのコミュニケーション等で苦労したこと・工夫したこと、学んだことなど）
 ③教育実習前の「自分にとって、これから解決すべき課題と教育実習に向けての決意」について（教師の日々の仕事を観察・経験して学んだことを踏まえて）の振り返り
 ※実習終了後、2週間以内に、「教育実習日誌」と「教育実習レポート」を大学に提出すること。
 ※教育実習レポートの内容や分量に不足がある場合は、再提出することになります。

教育実習Ⅰの内容との関連

教育実習Ⅰの課題（シラバス）

- ・教育実習の基礎知識と実習日誌の作成方法（動画①）
- ・教育実習に向けて（動画②）
- ・教科の指導法（動画③）
- ・模擬授業第1回～第3回（動画④～⑥）
- ・教育実習報告会（動画⑦）

※すべての動画の視聴後にレポートを作成し、提出すること。

レポート課題（事前指導）

形式 A4版 40×30行

内容 (1)、(2)について、それぞれ1200字程度

(1)授業実習にあたって心得ておくべきことについて書きなさい。(1200字程度)

※「教育実習」の意義・目的、実習の概要、心構え、準備をふまえて

(2)教育実習にあたって、自分にとって、これから解決すべき課題と教育実習に向けての決意について書きなさい。(1200字程度)

※学習指導、生徒指導、規範意識、社会人としてのマナー、生徒、先生方とのコミュニケーションなど

教育実習（教育実習Ⅱ・Ⅲ）のレポート課題

③教育実習レポート

形式 A4版（43×43行）3枚程度

様式 最初に「教育実習レポート」と明記し、学生番号、氏名を記入すること。次に「教育実習校」と「教育実習の期間」を記すこと。

内容

(1) 学習指導について（苦勞したこと・工夫したこと、学んだことなど）

(2) 生徒指導について（ホームルーム（SHR, LHR）について、部活動や掃除、生徒とのコミュニケーション等で苦勞したこと・工夫したこと、学んだことなど）

(3) 教育実習前の「自分にとって、これから解決すべき課題と教育実習に向けての決意」についての振り返り（教師の日々の仕事を観察・経験して学んだことを踏まえて）教育実習で学んだこと

*③は、教育実習を行った学生が、教育実習終了後、2週間以内に大学に提出します。

資料3-2-6:教育実践力を培うJゼミ

2023 後期 ～もっと学びたい。成長したい。を叶えたい～

Jゼミナール 参加者募集

学年・学部・学科は一切不問
申込は各研究室へ

授業研究ゼミ

渡邊 仁 講師
Jin WATANABE



859研究室

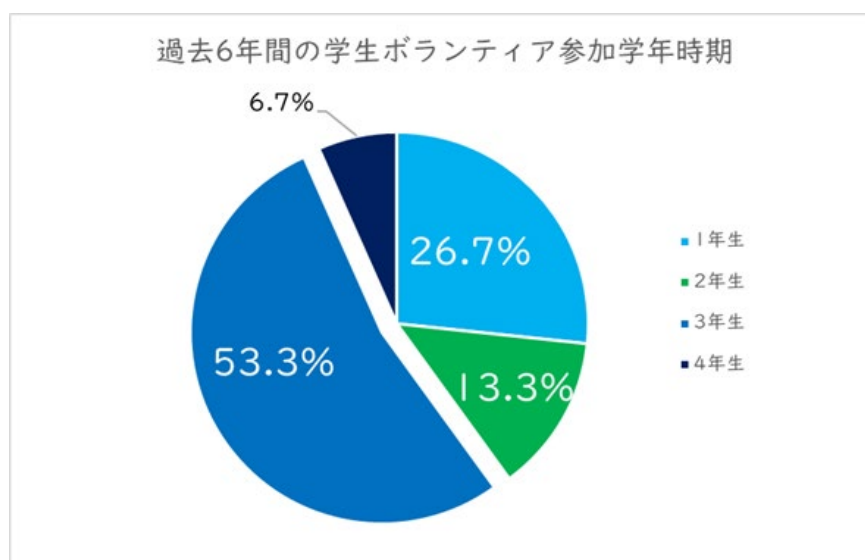
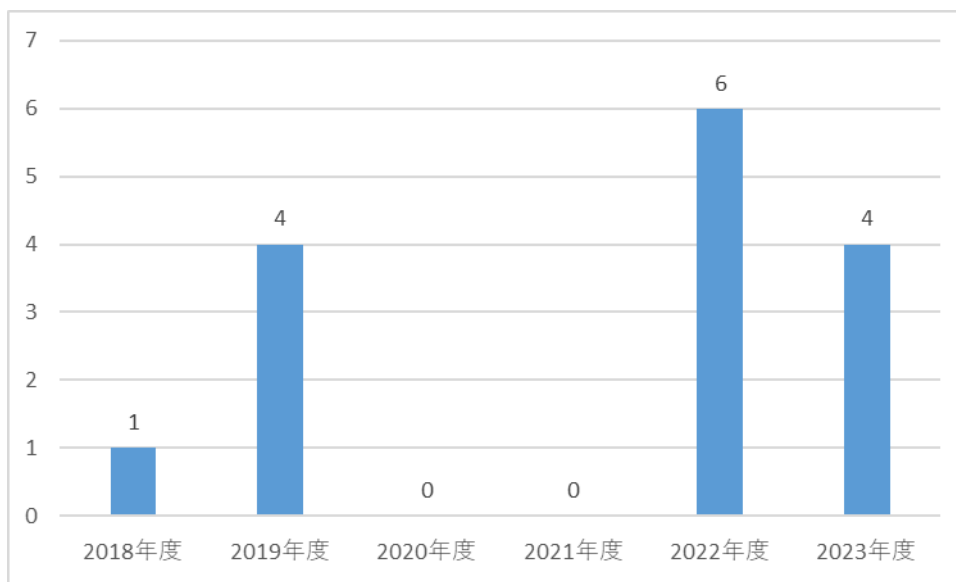


応募締切
10月27日（金）

データ1: 学生ボランティア及び草の根教育実習の参加者数

学生ボランティア参加学生数（過去6年間）

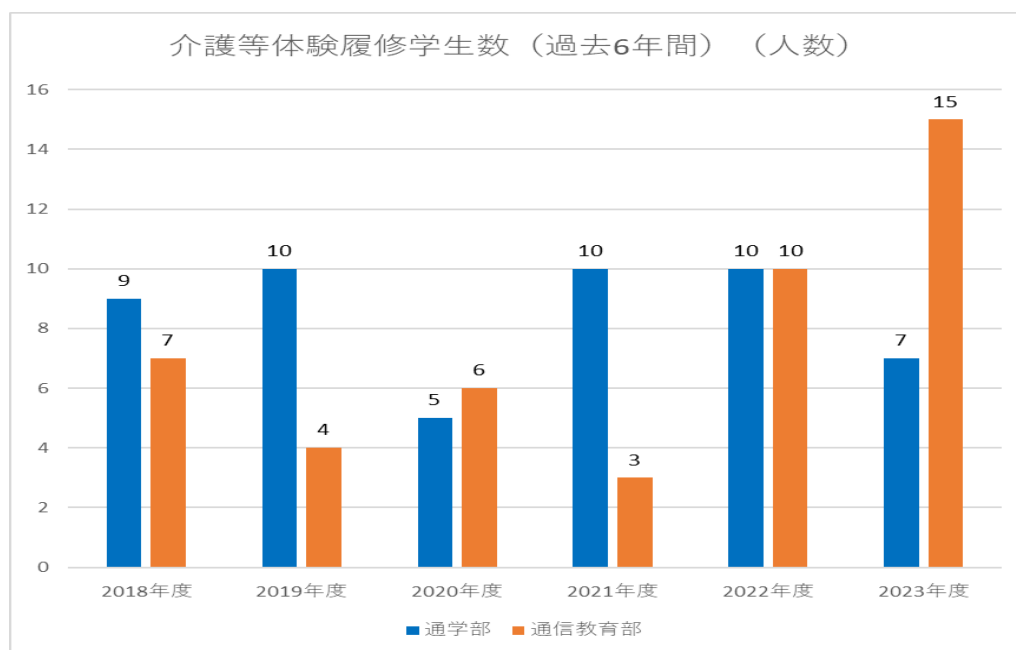
※2020～2021年度はコロナ禍により未実施



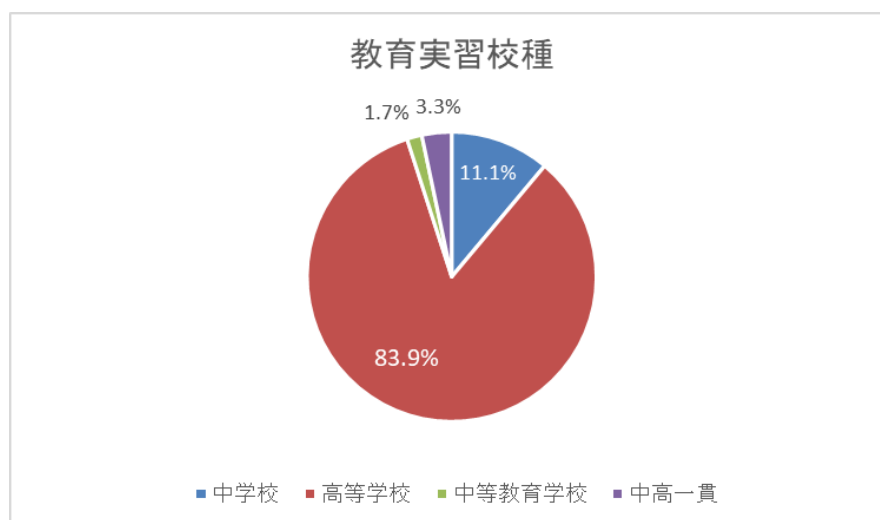
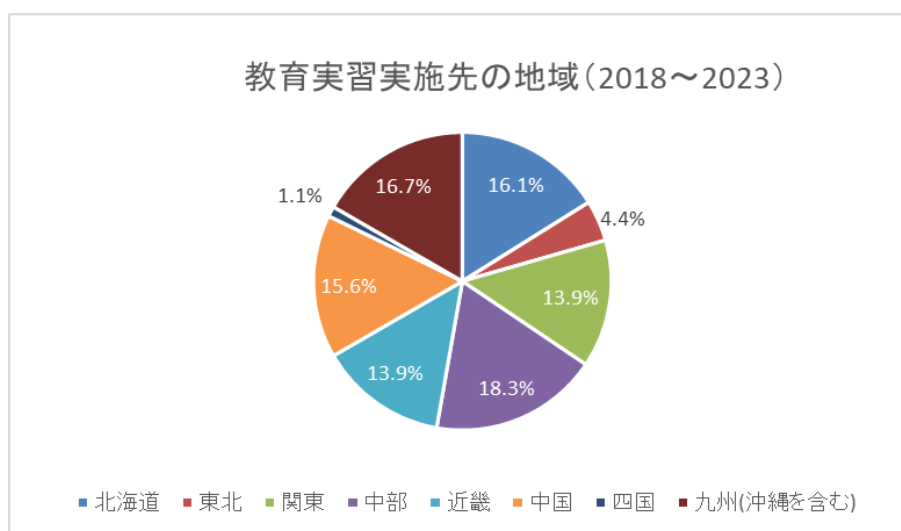
令和5（2023）年度 草の根教育実習の参加者数

1年生	2年生	3年生	4年生
0	2	1	0

データ2:介護等体験実施者数の推移



データ3:通信教育部における教育実習先の地域と校種



データ4:通信教育部における教育実習生数の推移

